



＋日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第56回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会



CHAMPIONSHIP THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE ORGANIZATION - KYOKUSHIN - INTERNATIONAL KARATE



極真会館 創立60周年



MASUTATSU OYAMA REMEMBRANCE



DAWN OF A NEW ERA

+ 日本赤十字社 災害義援金チャリティー 第56回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催 / 国際空手道連盟 極真会館 館長 / 松井章奎

協賛 / KAATSU JAPAN (株) シダックス株式会社

後援 / 日本赤十字社 公益財団法人 全日本空手道連盟 スポーツ庁 メディアエイト ワールド空手

2024年11月30日①12月1日② 東京体育館

大会日程

SCHEDULE

第56回 オープントーナメント 全日本空手道選手権大会

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

11/30(土)

- [9:00] 開場
- [10:00] 開会式
- [10:20] 女子1回戦(14試合)
- [11:10] 男子1回戦(25試合)
- [12:40] 初日試合終了

12/1(日)

- [9:00] 開場
- [10:00] 女子2回戦(8試合)
- [10:30] 男子2回戦(32試合)
- [12:20] 男子3回戦(16試合)
- [14:00] 開会式
- [14:25] ルール説明
- [14:55] 試割り(男子のみ)
 - ①正拳 ②足刀 ③猿臂 ④手刀
- [15:30] 男子4回戦(8試合)
- [16:10] 女子3回戦(4試合)
- [16:25] 男子準々決勝戦(4試合)
- [16:45] 女子準決勝戦(2試合)
- [16:55] 男子準決勝戦(2試合)
- [17:20] 演武
- [17:40] 女子3位決定戦(1試合)
- [17:45] 男子3位決定戦(1試合)
- [17:50] 女子決勝戦(1試合)
- [17:55] 男子決勝戦(1試合)
- [18:20] 表彰式・閉会式
- [18:50] 大会終了

※両日とも進行状況により時間が変動する場合があります。

[試合時間]

- 女子1～3回戦 ①本戦 2分間
②延長戦 2分間
③体重判定(有効差5kg)
④再延長戦2分間の順で勝敗を決する
- 女子準決勝戦以降 ①本戦 3分間
②延長戦 2分間
③再延長戦 2分間
④試割の枚数(準決勝は手刀/決勝戦・3位決定戦は猿臂)
体重判定(有効差5kg)
⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する
- 男子1～3回戦 ①本戦 2分間
②延長戦 2分間
③体重判定(有効差10kg)
④再延長戦2分間の順で勝敗を決する
- 男子4回戦以降 ①本戦 3分間
②延長戦 2分間
③再延長戦 2分間
④試割の合計枚数
体重判定(有効差10kg)
⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する

目次

- 3 大会日程・目次
- 4 ご挨拶
国際空手道連盟 極真会館 館長 松井章奎
- 5 大会役員紹介
- 6 ◎今大会の見どころ
「2025第7回全世界体重別大会」日本代表選考大会
**極真新時代の扉は
自らの手で切り拓け!!**
- 10 ◎今大会注目選手紹介
荒田昇毅/コバレンコ・コンスタンティン
清水祐貴/ポリアコフ・イリヤ/シピエン・パトリック
金子雄大/樋口知春/飯塚 翼
辻隆行/大秦稜司/谷川蒼哉/山上大輝
トゥセウ・アントニオ/徳田寛大/西村大河/坂田龍星
木山獅勇/エキモフ・マクシム
ナヴァロ・アレハンドロ/小林健人
14 佐藤拓海/大秦零司/コセンチーノ・ジノ/高木 信
小城みなみ/河合風香/岡田冨月
ザベリナ・エリザベータ/ザソリナ・クセニア
知念琉花/田崎佑麻/宮本 神
- 16 男子出場選手一覧
- 18 男子トーナメント表
- 20 女子トーナメント表&出場選手一覧
- 21 1969-2023全日本・世界大会歴代入賞者
- 24 I.K.O.極真ルール/試割規定/審判動作基準
試合の主な有効技・反則技
- 26 I.K.O.審判資格者一覧
- 30 会員制度推進本部からのお知らせ
- 31 国際空手道連盟 極真会館 総本部・全国支部道場案内



第56回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
パンフレット
発行日/2024年11月30日
発行所/国際空手道連盟 極真会館(I.K.O.)
編集/国際空手道連盟 極真会館 大会事務局



国際空手道連盟 極真会館 館長

松井章奎

本日は、御来場頂き誠に有難うございます。

皆様方の温かい御支援を賜り、『日本赤十字社 災害義援金チャリティー 第56回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』を、本日ここに開催出来まことを心より御礼申し上げます。

今年2024年は、我々の師である創始者・大山倍達（1923-1994）の逝去から30年、1964年に国際空手道連盟 極真会館が設立されてから60年という節目の年に当たり、師の命日である4月26日には極真会館の聖地とも言える東京・池袋において『大山倍達総裁三十年慰霊祭』と『国際空手道連盟 極真会館 創立60周年記念祝賀会』を執り行いました。この記念すべき年に第56回目の全日本空手道選手権大会を開催できますことを大変喜ばしく存じます。

改めまして、これまで御支援賜りました多くの方々に心より感謝の意を表すとともに、これを機に更に気を引き締め、この先70周年、そして100周年を迎えることが出来るよう一丸となって団体活動に邁進していく所存ですので、今後とも御教導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

国際空手道連盟 極真会館は、師・大山倍達が自らの修行の中で生み出した『実践なくば証明されず、証明なくば信用されず、信用なくば尊敬されない』『力なき正義は無能なり、正義なき力は暴力なり』という独自の理念をもとに設立され、ちょうど10年前2014年の創立50周年を機に、今後の50年、100年に向けた大きな改革をスタートさせました。まず、日本の伝統文化・武道を世界に発信する国際団体であるという明確な志の下、我々が主催する大会行事や団体全体のイメージの統一と刷新、また空手道のオリンピック競技参加を長期にわたり推進してきた公益財団法人 全日本空手道連盟との友好化に伴い積極

◎大会ごあいさつ

＋日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第56回オープントーナメント全日本空手道選手権大会

的に交流する機会を持ちながら空手界の大同団結や社会的地位向上を目指して活動していくこと、内部的には2016年より『I.K.O.極真ルール』の組手競技におけるルール改定、及び2018年に開始した『I.K.O.セミコンタクトルール』による組手競技の推進、そして2019年からは型の整備と細かい動作の統一、一つ一つの動作を見直すなど、これまで極真会館の中で伝統的に受け継がれてきた稽古体系に加え、その幹となる技術体系の構築に取り組んでいます。

特に本大会における組手競技については、師が、『素手素足』『体重無差別』『直接打撃』の3原則をもって創り上げた直接打撃制ルールが多年にわたる変遷を経て、昨今のいわゆる「フルコンタクト空手」ルールとなっている現状を憂う中で、草創期の『実戦性』に回帰するとともに社会体育としての『安全性』を十分に確保しながら『競技性』を高め、武術本来の技の習得や向上を目指すという目的で2016年にルール改定を実施しました。以来、このルールは新たに『I.K.O.極真ルール』という名称に定め、二度の世界大会を挟んで8年が経過する中で年々微調整を重ねながら進化発展し、国際的にも広く普及・浸透していることで、今大会ではさらに精度を増した攻防が見られるものと期待を寄せています。

全日本空手道選手権大会は、1969年に第1回大会が開催された直接打撃制の競技会としては最も歴史と伝統、そして権威ある大会で、第56回目となる本大会には全国で選抜された組手競技の選手をはじめ海外からの招待選手など男子89名・女子30名の合計119名が出場し、2日間にわたって体重無差別で『直接打撃制空手の日本一』を競います。

昨年の第13回世界大会を経て、次の2027年第14回大会に向けた新たなターンに入り、最初の無差別全日本となる本大会は、男女ともに過去の世界大会や全日本大会で上位入賞実績のあるトップ選手と、それらを凌ぐ勢いの若手有望選手、また強豪海外勢との激しい優勝争いが予想されます。特に世界大会翌年は選手層の新陳代謝が促進されることもあり、ベテラン勢と新鋭たちの熱戦や、数多くの新鋭たちの中で誰がトップに駆け上がるのかなど、例年にも増して見所の多い大会となっています。さらに今大会は来年4月に予定される第7回全世界体重別空手道選手権大会の日本代表選手選考大会となっており、6月に行われた全日本体重量別大会の成績と今大会の結果や試合内容等によって後日、日本代表選手が決定することになります。

一方で、極真会館は『競技団体』ではなく、あくまでも『武道団体』であり、極真会館におけるの競技会・大会というのは、一つの修行の場でなければいけません。前述の『実践なくば証明されず、証明なくば信用されず、信用なくば尊敬されない』という実践主義における実戦空手としての『実戦性』が示されること。師が『地に沿った基本、理に適っ

た型、華麗なる組手』、『理念のある空手が極真空手である』と常々教示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして試合である以上は、『安全性』が担保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。この『実戦性』、『競技性』、『安全性』、そして『武道性』を示せる『修行の場』というのは、師が期待し望んでいた競技会・大会としての在るべき姿とも言えるでしょう。

『大山倍達没後30年・国際空手道連盟 極真会館 創立60周年』の記念大会において、出場する選手の皆さんにはそれらを示せるような『極真』らしい試合を見せてほしいと願っています。

国際空手道連盟極真会館は、師が教示した空手道の『真を極める』という精神性をその団体名とし、『頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する』という極真の理念に基づいて1964年に創設された武道団体です。日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求すると共に、2011年『極真会館・命知元年』で示した『世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める』という団体活動目的と『最強求道の志・相互互惠の志・永續繁栄の志』という3つの団体活動指針を基盤としています。日本の優れた伝統文化である武道精神と空手道の普及によって健全な青少年、健全な若者の育成と人格の陶冶を目指し、シニア世代の健康増進や社会福祉、国際交流など、『武道を通じて社会に貢献する』という信念の下、今後とも様々な活動に邁進していく所存であります。

なお、極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内の全ての大会や行事を震災や台風・豪雨災害等の義援金チャリティー大会として開催しています。近年各地で様々な災害が発生していますが、被災地の日も早い復興を願い、今後も継続的にチャリティー活動を行ってまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本大会に出場する選手の皆さんには、日頃の鍛練の成果を発揮し、武道空手にふさわしい『心・技・体』を体現するべく正々堂々と試合に臨んで頂きたいと思えます。また、御来場の皆様方には最後まで選手たちに熱い御声援を賜りますようお願い申し上げます。本大会の御観戦を通じて、我々の活動に更なる御理解を頂き、今後とも御支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多大なる御支援を賜りました御協賛各社様、御後援下さった各団体・各社様、その他御協力、御尽力を賜りました多くの皆様方に衷心より尊敬と感謝の意を表し、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

GREETINGS

大会役員



大会実行委員長
松井 章奎
 極真会館 館長
 Championship Chairman
 Matsui Shokei
 President of the
 I.K.O. Kyokushinkaikan



大会審議委員長
郷田 勇三
 極真会館 最高顧問
 Championship Committee Chairman
 Goda Yuzo
 I.K.O. Executive Advisor



大会審議委員会相談役
待田京介
 極真会館 特別相談役
 Championship Committee Advisor
 Machida Kyosuke
 I.K.O. Special Advisor



大会審判長
磯部 清次
 極真会館 国際委員会委員
 Championship Supreme Judge
 Isobe Seiji
 I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
ケニー・ウーテンボガート
 極真会館 国際委員会委員
 Championship Executive Judge
 Kenny Uytenbogaardt
 I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
山田 雅稔
 極真会館 副審判委員長
 Championship Executive Judge
 Yamada Masatoshi
 I.K.O. Officiating Committee Vice Chairman



大会審議委員
河岡 博實
 極真会館 審判委員会委員
 Kawaoka Hiromi
 I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
五来 克仁
 極真会館 国際委員会委員
 Gorai Katsuhito
 I.K.O. International Committee Member



大会審議委員
川畑 幸一
 極真会館 審判委員会委員
 Kawabata Kouichi
 I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
スチュアート・コリガル
 極真会館 審判委員会委員
 Stuart Corrigan
 I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
浜井 良顕
 極真会館 審判委員会委員
 Hamai Yoshiaki
 I.K.O. Officiating Committee Member



大会実行副委員長
福田 勇
 極真会館 総本部師範
 Fukuda Isamu
 I.K.O. Honbu Shihan



大会実行委員
八巻 建志
 極真会館 総本部師範
 Yamaki Kenji
 I.K.O. Honbu Shihan

大会名誉顧問

菅 義偉 (衆議院議員)
 小沢一郎 (衆議院議員)
 亀井静香 (元衆議院議員)
 佐藤義昭 (加圧トレーニング®発明者)
 佐藤可士和 (クリエイティブディレクター)

大会特別顧問

澤井明彦 (株式会社サン・ラック代表取締役社長)
 志太勤一 (シダックス株式会社代表取締役会長兼社長)

大会相談役

泉 和彦 (団体代表役員)
 伊東信久 (衆議院議員、医師)
 大下英治 (作家)
 川島智太郎 (元衆議院議員)
 行田邦子 (埼玉県行田市市長)
 藤巻 潤 (俳優)
 毛利謙介 (総本部顧問、会社役員)
 (※五十音順)

大会評議委員会

杉村福次郎
 (※五十音順)

大会医事

極真会館 医事委員会

参加協力団体

国際空手道連盟 錬空武館
 全日本真正空手道連盟 真正会

大会運営委員会

杉村多一郎 (運営委員長)
 青木英憲
 今西登之彦
 江口芳治
 柿沼英明
 嶋志田裕寿
 川本英児
 菅野秀行
 毛塚慎一
 佐々木敏也
 鈴木由一
 田口恭一
 立川善久
 根本清志
 羽田シゲル
 ホスロ・ヤグビ
 (※五十音順)

極真会館 創立60周年

MASUTATSU

OYAMA
REMEMBRANCE



◎今大会の見どころ

「2025第7回全世界体重別大会」日本代表選考大会

新鋭の台頭か、ベテランの巻き返しが、
あるいは海外勢が日本を席卷するのか

極真新時代の扉は 自らの手で切り拓け!!

空前の盛り上がりを見せた第13回世界大会から1年、
極真空手は新たな時代の幕が開けようとしている。
成長著しい新鋭たち、虎視眈々とチャンスを窺うベテラン勢、
そして日本でのタイトル獲得を狙う強豪海外勢。
これら全てを巻き込み、過酷なトーナメントが開始される。
2日間の戦いが過ぎ去った後、最後に勝ち残っているのは誰なのか。
今年、新たな時代の旗手がここに誕生する。



+ 日本赤十字社 災害義援金チャリティ

全日本空手道選手権大会

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP



主催 / 国際空手道連盟 極真会館 会長 / 松井卓堂 協賛 / KAATSU JAPAN (株) シタックス株式会社 協賛 / JAPAN KARATE ASSOCIATION (株) 日本空手道連盟



「セッケン1番は決勝に行く責任がある」と悲壮な覚悟で挑む荒田昇毅(右)。



全日本ウェイト制で3年連続優勝を果たし、今最も勢いに乗っている飯塚翼(左)。



5年ぶりの無差別の大会に挑む全日本ウェイト制軽量級優勝者・樋口知春(左)。



全日本ウェイト制軽量級で優勝し、得意の上段前蹴りで初優勝を狙う山上大輝(左)。

1969年に第1回大会が開催され、今年で56回目を迎える『オープントーナメント全日本空手道選手権大会』。空手界で最も歴史と伝統のある公式大会とも言えるこの全日本大会に、今年男子89名、女子30名、合計119名が出場して『空手日本一』の座を争う。

4年毎の世界大会を軸に考えれば、昨年第13回世界大会を終えて今年次は第14回大会(2027年)に向けた4年周期の新たなスタートとなる大会でもある。大会2週間前に開かれた記者会見の席上にて、松井章奎館長は「世界大会翌年は新たな循環・代謝を促進する年になる。昨年世界大会を締めくくりにして引退する選手がいる一方で、今年新たな若い力が出てくる。若い選手にとってチャンスが広がる大会になると思います」と、期待を込めて今大会の位置付けを語った。

また、今年2024年は1964年に創設された国際空手道連盟極真会館創立60周年および1994年に他界した創始者・大山倍達没後30年にあたり、今大会が記念大会であると同時に、来年4月に行われる『第7回全世界体重別空手道選手権大会』の日本代表選手選考大会となる。無差別の第14回世界大会は3年後とはいえ、今大会での成績や試合内容が世界の舞台に直結することになる。

それを示唆するように、日本代表・赤石誠監督は今年の全国選手強化合宿や強化稽古の際にこう言って選手たちを鼓舞した。「次の第14回世界大会で優勝するためには、今回の全日本大会、来年の全世界体重別大会で自分がどういった結果を残し、どう強くなっていくのかを思い描く必要があります。3年後に自分が優勝するために、今、何が必要なのかを考えながら稽古に取り組んでください」

今年2月と9月の2度行われた強化合宿では

過去最高とも言える80名を超える選手が全国から参加し、2泊3日の厳しい稽古に臨んだ。そこには今大会の有力選手と見られる、第39回全日本ウェイト制重量級優勝者の荒田昇毅や第52回全日本優勝者コバレンコ・コンスタンティン、女子では第39回全日本ウェイト制重量級優勝者の宮本神など男女トップ選手も顔を揃え、それぞれが「今年最大の目標」と掲げるこの第56回全日本大会に向けて鎧を削り合った。今大会には、他にも10代後半から20代前半の若くて勢いのある選手たちや若手に負けてはられないと意地を見せる中堅・ベテラン勢、さらに昨年世界大会で上位に進出した海外選手も複数エントリーしている。例年に違わず今大会も多くの見所やテーマを包含しながら、2日間のトーナメントが展開されていくことになる。

ではまず男子の注目選手から各ブロック毎に見ていこう。

■男子Aブロック

トーナメントのトップバッターは、過去の全日本大会や世界大会で何度も上位に入賞し、数々の激闘を繰り広げた荒田昇毅(No.1=セッケン番号以下同)。優勝候補の証でもあるセッケン1番を荒田が付けるのは全日本・世界大会を通じて5度目で、キャリア・実績では他の追従を許さない。その荒田の初戦(2回戦)の相手となるのは、東日本大会4位・高村秋翔(No.2)と全東北大会優勝・前川生向(No.3)の勝者。どちらが勝っても『打倒・荒田』を目指した澁刺とした試合を期待したい。

地方支部の成長株と言えば西尾咲哉(No.6)。まだ18歳ながら地元開催の全中部大会を3連覇し、8月の西日本大会では一学年下のライバル木山獅勇を本戦で圧倒して優勝を遂げた。西尾と2回戦で対戦が予想されるアルバヤティ・フ

セイ(No.7)は昨年の世界大会や10月にポーランドで行われた世界団体戦にも出場したI.K.O.クウェートの強豪。西尾が体重125kgの超下級パワーにどう対峙するのかがこの試合の見所となる。さらに試合巧者のベテラン清水祐貴(No.11)がエントリー。「大きい相手にいかに勝つか」を空手人生のテーマに掲げる清水が、大型の西尾あるいはアルバヤティにどんな戦いを挑むのか、また西尾と清水の対戦となれば、互いの意地もあり見逃せない新旧対決となる。

ブロック後半は、まずポリアコフ・イリヤ(No.12)とシピエン・パトリック(No.18)という昨年世界大会ベスト16同士の外国人が有力。強豪ひしめくI.K.O.ロシアで着々と地位を固めるポリアコフに対し、シピエンは体格やキャリアで優り、勝敗の予想は非常に難しい。

次に全日本ウェイト制軽量級で優勝した樋口知春(No.23)と同3位の金子雄大(No.19)からも目が離せない。ウェイト制大会ではブロックが異なり対戦していない両者だが、今回は3回戦での直接対決が濃厚。順位通りの結果になるのか、金子が下廻上を果たすのか。いずれにせよこの勝者が、ポリアコフvsシピエンの勝者とベスト8を懸けて戦うことになりそうだ。

■男子Bブロック

6月の全日本ウェイト制大会、中量級優勝者と軽重量級優勝者が両端に位置するBブロック。まず中量級2連覇の飯塚翼(No.24)は初戦の2回戦で神奈川県大会優勝・澤村海詠(No.26)を下せば、3回戦は今大会随一の体格を誇るゴリウシキン・ダニル(No.28)との大一番を迎える。体重別では無敵の快進撃を続ける飯塚が、195cm・112kgの圧倒的とも言えるパワーにどう挑むのか注目だ。

体格差と言えば全日本ウェイト制軽量級2



昨年世界大会4位トゥッセウ・アントニオ(左)は日本での初戴冠に執念を燃やす。



48歳にしてはまだ健在ぶりを発揮する第44回全日本優勝者ナヴァロ・アレハンドロ(左)。



190cm、110kgに圧倒的パワーで対戦相手を粉砕する世界大会7位エキモフ・マクシム(左)。



第52回全日本優勝者で4年ぶりの優勝を目指す世界大会6位コバレンコ・コンスタンティン(右)。

年連続準優勝者の辻隆行(No.29)は今大会最軽量の61kg。初の無差別全日本出場で階級の壁を超える戦いを見せてほしい。

そして前半ブロックの最後尾には一昨年第54回大会で3位に入賞して鮮やかな印象を与えた大秦稜司(No.34)が控える。順当なら4回戦で飯塚vsゴリウシキンの勝者との対戦が予想され、相手が飯塚となれば2年ぶりの再戦。前回は大秦が判定勝ちしているが、今年のウェイト制の成績では飯塚が一歩リードしているだけに両者にとって負けられない一戦になる。

ブロック後半は、飯塚や大秦と中量級で優勝争いを繰り広げる谷川蒼哉(No.35)が有力。最初の山は3回戦、昨年の東日本大会&全関東大会重量級を制した20歳の新鋭・秋山大知(No.40)との試合になりそうだが、谷川が一階級上の秋山をどう攻略するのか、それとも秋山の勢いが先輩格の谷川を凌駕するのか。

さらに激戦必至と見られるのが2回戦、シャブロフ・ニキータ(No.41)と岩田大(No.42)の一戦だ。シャブロフは全ロシア大会軽重量級3位の実績があり、昨年世界大会ベスト16の実力者。対する岩田は一昨年全日本ウェイト制重量級3位、1カ月前の全関東大会重量級で優勝し万全の仕上がりで今大会に臨む。

Bブロック最後尾の山上大輝(No.45)の2回戦の相手はユース時代に数々の実績を持つ『新・城西の秘密兵器』田水春樹(No.43)と9月の全東北大会で準優勝して復活の狼煙を上げたベテラン村岡賢和(No.44)の勝者。3回戦はシャブロフvs岩田の勝者との対戦となり、山上にとって体格で上回る相手との試合が続き、得意の上段前蹴りがどのタイミングで炸裂するのか注視したい。

■男子Cブロック

先頭は世界大会4位のトゥッセウ・アントニオ(No.46)。3回戦の全ロシア大会軽重量級準優勝者グリンスキー・ブラディスラフ(No.49)との一戦をクリアすれば、その勢いで一気に優勝圏内に勝ち進むかもしれない。

I.K.O.セミコンタクトルール3度優勝の実績を持ち、I.K.O.極真ルールでも今年の埼玉県大会と東日本大会で優勝した兼久啓太郎(No.51)は、2回戦を突破すれば3回戦で関西の実力者・徳田寛大(No.56)に挑む。盤石さに定評のある徳田に兼久がどう対抗するのか。一方の徳田は兼久との試合で弾みを付け、トゥッセウが待つ4回戦に進出したいところだ。

ブロック後半はやはり世界大会7位エキモフ・マクシム(No.67)の存在が大きい。エキモフへの挑戦権を懸けた戦いとなりそうだが、エキモフの3回戦の相手は全日本ウェイト制軽重量級4位の木山獅男(No.63)vsナカノ・ソウタ(No.64)の勝者。大型新人・木山が全日本デビュー戦でベテランを相手にどんな組手を見せるのか。そして続くエキモフ戦で大番狂わせを起こすことができるのか、期待して見守りたい。

そのエキモフとの試合を熱望しているのが西村大河(No.57)だ。6月の全日本ウェイト制でエキモフと準決勝で対戦し、果敢に挑んだ西村だったが力及ばず惜敗。早くも巡ってきたリベンジのチャンスを必ず掴み取り、汚名返上を期す。また、西村は昨年の世界大会ではトゥッセウに敗れているだけに、エキモフ、トゥッセウの両選手に雪辱を果たし、優勝圏内まで一気に駆け上がりたい。

他にもこのブロックには昨年真正会から唯一世界大会に出場した坂田龍星(No.62)が全日本初出場。2回戦では全関西大会優勝・長澤龍馬(No.60)との対戦が予想され、スピードと技の切れは坂田、打ち合いの展開になれば長澤と、

どちらが持ち味を発揮できるかで勝負の行方が決まってくる。

■男子Dブロック

12年前の第44回全日本大会優勝者で48歳の鉄人ナヴァロ・アレハンドロ(No.68)が、今大会も有力選手の一人として出場。対抗馬となる日本勢では全日本ウェイト制軽重量級準優勝・小林健人(No.72)に期待したいが、初戦(2回戦)の相手マフモディアスル・フーマン(No.71)は昨年世界大会4回戦で荒田昇毅と延長戦まで僅差の勝負を展開した強豪。100kgを超えるパワーを小林が封じることができれば、ナヴァロ戦での勝機が見えてくる。

世界大会で技能賞を受賞した佐藤拓海(No.73)は順当なら3回戦で全ロシア大会軽重量級4位グセイノフ・ラシャド(No.78)と対戦。上段への蹴り技を得意にする佐藤がパワー主体のグセイノフに勝てば、大きな自信を携えて次のナヴァロとの試合に臨める。

ブロック後半は4年ぶりの優勝を狙うコバレンコ・コンスタンティン(No.89)がトーナメントのエースナンバーでもある最後尾に陣取る。

ベスト8進出を懸けた4回戦でコバレンコと対戦が有力視されるのは全日本ウェイト制軽重量級準優勝・大秦零司(No.79)、と言いたところだが大秦はその前の3回戦が鬼門になりそう。コセンティノー・ジノ(No.83)は今年10月のヨーロッパ無差別でナヴァロを破って初優勝した実力もさることながら、大秦にとってコセンティノーは昨年のヨーロッパウェイト制大会で弟・稜司を下した仇敵でもある。また高木信(No.84)は2021年の西日本大会決勝で大秦が一本負けを喫した相手。どちらにしても浅からぬ因縁があり、逆にコセンティノーと高木は大秦を与しやすい相手と思っているかもしれない。



一打必当の上段前蹴りを武器に海外強豪へのリベンジと頂点を狙う小城みなみ(左)

世界クラスの大会や国際大会で実績豊富なベテラン、クセニア・ザソリナ(右)。



女子で今大会実績 No.1 の昨年世界大会3位ザベリナ・エリザベータ(左)。



女子の優勝候補筆頭格、宮本神(右)は優勝してエースの座を勝ち取るのか!?

このブロックはコパレンコが実績、実力ともに他の選手を引き離し、大きなミスやアクシデントがなければ優勝争いに食い込むことはほぼ確実と見られるが、果たしてどんな展開を見せるのだろうか――。

■女子ABブロック

女子トーナメントは、昨年世界大会で優勝し長年トップの座に君臨していた佐藤七海の現役引退により、次の世界大会に向けて新たなエース誕生の機運が高まっている。

まずAブロック先頭に配されて優勝候補の一人に挙げられる全日ウエイト制中量級優勝者の小城みなみ(No.101)に2回戦で挑むのは、池田心結(No.102) vs 櫻田まどか(No.103)の勝者。池田は今年2月の千葉県大会優勝者で、櫻田は全東北大会優勝者。また櫻田は全日本型競技2連覇の実績を持ち、組手と型の『二刀流』で今大会でも上位を狙う。

さらに3回戦では全日本ウエイト制中量級で小城に敗れた同3位の徳田茄麗(No.105) vs 同準優勝の河合風香(No.107)の勝者が、雪辱戦に燃えるという構図になるが、徳田の1回戦の相手・福永ゆら(No.104)は西日本大会優勝者で、河合の相手ロマネンコ・ダリア(No.106)は全ロシア大会重量級3位。そう簡単に筋書き通りにはいかない予感がする。

Bブロックはまず全日本ウエイト制重量級3位の岡田冴月(No.108)と昨年全日本ウエイト制重量級優勝者の本村愛花(No.111)の2回戦に注目。世代交代の意味もあり、この試合の勝者が今大会実績No.1のザベリナ・エリザベータ(No.115)に挑む。その他、昨年世界大会で若獅子賞を受賞した所羽奈(No.112)は全東北大会準優勝の藤本美桜(No.113)と1回戦で対戦。ベテランの遠藤ひとみ(No.114)は1回戦でザ

ベリナの牙城にどこまで肉薄できるかに期待が寄せられる。

そして準決勝で小城とザベリナの対戦となれば、これは昨年全日本ウエイト制3位決定戦の再戦。この試合でザベリナの軍門に下った小城にとって、自身の成長を証明する戦いになる。

■女子C・Dブロック

Cブロックは全ロシア大会中量級優勝者のザソリナ・クセニア(No.116)が有力候補だが、2回戦でザソリナに挑むと予想されるのは10月にポーランドで行われた世界団体戦日本代表の岡野結衣(No.119)。岡野はまだ高校2年生だが、東日本大会3位の実績があり、若さと勢いで大物喰いを狙う。

他にも全関東大会重量級3連覇の今井佑奈(No.120) vs 東日本大会優勝者の鈴木花菜(No.121)の1回戦。その勝者が世界大会日本代表の知念琉花(No.123)と2回戦で戦う。

3回戦ではザソリナと知念の試合が予想されるが、ここはウエイト制大会で本領発揮できなかった知念の奮起に期待したい。

Dブロックは田崎佑麻(No.124)と宮本神(No.130)の重量級サブトップが群を抜いている。昨年の全関東大会軽量級優勝・今井彩弥(No.125)は前述の櫻田まどか同様に型競技でも活躍している全日本型競技準優勝者。パワーあふれる田崎にどこまでテクニカルな戦術が通用するかがカギになる。また、全日本ウエイト制軽量級4位の森岡優海(No.127)、同準優勝の鈴木千凌(No.129)といった10代の有望選手が田崎や宮本にどこまで迫れるのかといったところもこのブロックの見所の一つだ。

冒頭で触れたように、田崎と宮本の5カ月ぶりの再戦が有力視されるDブロックだが、Cブロックのザソリナと知念も含めて、ポーランド

世界団体戦で2つの一本勝ちをマークして波に乗る宮本が頭一つリードしているように感じられる。

昔から「世界大会翌年の全日本は波乱が起こる」というジンクスがある。前年の日本代表選手に対し、新進気鋭の若手が喰らいつき、予想外のアップセットを巻き起こすというのがこれまでの慣例だったが、今大会でもそんなシーンがいくつも見られるに違いない。

特に男子は、初日(11月30日)は1回戦のみ、2日目(12月1日)は2回戦から決勝戦まで1日に6試合となるが、これはおそらく全日本大会や世界大会で1日の史上最多試合数になる。そのことがベテラン勢と若手、また外国人選手にとってどんな影響を及ぼすのか。

前述の記者会見で松井館長は「相手も6試合しますし、厳しい言い方をすれば決勝を戦う選手は最後の再延長戦までしっかり自分の組手ができなければ、決勝まで勝ち上がる資格がない。決勝で、足を下段で蹴られてそのまま一本・技有りを取られる、または中段を叩かれて落ちる選手ははっきり言って技量不足、鍛錬不足。試合数に関係なく、そこで勝ち上がっていきけるだけの心・技・体がなければ優勝する資格はない。もちろん大変ですが、決勝まで上がる選手はそれくらいの意識でやってもらいたいです」と選手たちに期待を込めて檄を飛ばした。

つまり、直接打撃制空手の模範となり、極真を象徴するような試合展開や立ち居振る舞いが選手たちには求められるという訳だ。そして、この先には来年の第7回全世界体重別大会、3年後の第14回世界大会が待っている。極真空手の未来を託せるような選手が数多く台頭し、時代を照らす希望の光となるような新たなエースの誕生に期待したい。

THE STAR FIGHTERS

今大会注目選手紹介

日本赤十字社 災害救援チャリティー
 第56回 オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
 THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

男子Aブロック／No.1 ARATA SHOKI

荒田昇毅



あらた・しょうき

千葉海浜支部、三段
 183cm／98kg／37歳

◎主な戦績

- 2012第44回全日本大会3位
- 2013第5回全世界ウェイト制重量級優勝
- 2014第46回全日本大会2位
- 2015第11回世界大会8位
- 2016第48回全日本大会4位
- 2017第6回全世界ウェイト制重量級3位
- 2017第49回・2018第50回全日本大会3位
- 2019第13回世界大会8位
- 2022第54回全日本大会4位
- 2024第39回全日本ウェイト制軽重量級優勝



荒ぶる闘志に繊細さと冷静さが融合 37歳の挑戦者が悲願の初制覇を目指す

37歳の挑戦者・荒田昇毅がゼッケン No.1 を背負って全日本の舞台上上がる。昨年第13回世界大会が終わり、イエロメンコ・アレクサンダーをはじめ同世代の強者が現役を退いた後も、荒田は頂点を睨み、その構えを解かない。2006年第37回大会で全日本デビュー、これまで4度の世界大会出場、2013年には全世界ウェイト制重量級で優勝するなど、常にトップシーンを走り続けてきた荒田。今年6月の全日本ウェイト制大会でも重量級決勝戦で世界大会7位エキモフ・マクシムを破り、その実力がいまだ世界トップレベルであることを証明した。支部長職に就き指導者となった荒田の組手は、持ち前の荒ぶる闘志と技に繊細さと冷静さが加わり、その進化は止まるところを知らない。世界の空手ファンを魅了し、大会場を揺るがし続けた極真空手の伝承者は、悲願の全日本制覇を果たすことができるのか!? その戦いぶりに注目が集まる。

男子Dブロック／No.89 KOVALENKO KONSTANTIN

コバレンコ・コンスタンティン



総本部道場、参段

182cm／100kg／29歳

◎主な戦績

- 2016第48回全日本大会6位
- 2017ヨーロッパオープン優勝
- 2019第12回世界大会5位・技能賞
- 2020第52回全日本大会優勝
- 2022第53回全日本大会4位
- 2022第37回全日本ウェイト制重量級優勝
- 2022真正会ウェイト制全日本重量級優勝
- 2022第54回全日本大会2位
- 2023第13回世界大会6位



第14回世界大会を見据え組手改革に着手 成果を発揮して2度目の全日本優勝を狙う

優勝候補筆頭の証でもあるトーナメント最後尾に配されたのが、コバレンコ・コンスタンティンだ。2019年第12回世界大会で5位に入賞した翌2020年10月から総本部指導員となり、1カ月後の第52回全日本大会で初優勝。海外との行き来ができなかったコロナ禍の3年間は、日本を牽引する存在として多くの選手の目標になった。頂点だけを目指して出場した第13回世界大会は6位。その実力が世界トップクラスであることは証明したが、課題や反省も残った。大会後、「空手道人生の大きな岐路に立った」とコバレンコは、2027年の第14回世界大会での優勝を見据えて組手改革に着手。以前から得意にしていた足掛け・足払いに加えて、上段への蹴り技や後ろ蹴りなど回転系の蹴り技の精度を高めた。今大会はその成果を試す絶好の機会でもある。コバレンコが確かな手応えを掴んだとき、2度目の全日本優勝が現実のものとなる。

男子Aブロック/No.11 SHIMIZU YUKI

清水祐貴

世界大会敗退から再び全日本挑戦
小よく大を制す空手を体現したい



しみず・ゆうき

東京城北支部、初段
171cm/77kg/29歳

◎主な戦績

2015第32回全日本ウエイト制軽量級優勝
2020第52回全日本大会3位
2021第53回全日本大会5位
2022第54回全日本大会6位

自身の集大成と位置付けた昨年の第13回世界大会でまさかの2回戦敗退。これ以上ない失意を味わったが、再び前を向いて全日本再挑戦を決めた。中量級の体格ながら、スキルはもちろん状況分析に長けた戦略家で、じわりじわりと相手を追い込む組手は円熟の極み。理想と掲げる小よく大を制す空手を体現するため、試行錯誤したこの1年の成果を大舞台で発揮する。

男子Aブロック/No.12 POLIAKOV ILIA

ポリアコフ・イリヤ

I.K.O.ロシア中量級で今年2度の優勝
初出場の全日本でさらなる飛躍を誓う



I.K.O.RUSSIA、二段

185cm/86kg/27歳

◎主な戦績

2024ロシアアンカップ中量級優勝
2024第39回全日本ウエイト制中量級3位
2024全ロシア大会中量級優勝

昨年第13回世界大会ではベスト16まで勝ち上がり、今年は自国の大会で中量級2度の優勝。強烈な左の突きを軸にプレッシャーを掛ける一方、長いリーチを活かした前蹴り、中段蹴り、後ろ蹴りといった技に切れがあり、近い間合いも遠い間合いもコントロールする万能型。6月の全日本ウエイト制では惜しくも優勝を逃し3位となったが、今大会でさらなる飛躍を誓う。

男子Aブロック/No.18 SYPIEN PATRYK

シピエン・パトリック

I.K.O.ポーランドを牽引するベテラン
6年ぶりの全日本で初タイトルを狙う



I.K.O.POLAND、参段
185cm/102kg/34歳

◎主な戦績

2014・2019ヨーロッパ無差別優勝
2022・2023ヨーロッパウエイト制重量級2位
2022ヨーロッパ無差別2位

I.K.O.ポーランドのエースとして約10年間にわたりヨーロッパの各大会で安定した成績を残してきたシピエン。10月に自国で開催された世界団体戦では決勝戦で世界4位トゥセウ・アントニオを再延長戦の末に撃破するなど、34歳にして益々意気軒昂。体格を活かしたパワフルな中段突きと下段廻し蹴りを武器に、6年ぶりに出場する全日本で初のタイトル奪取を狙う。

男子Aブロック/No.19 KANEKO YUDAI

金子雄大

巧みなヒット&アウェイで相手を翻弄
小兵ながら常に意識は無差別の優勝



かねこ・ゆうだい

東京城西支部、二段
165cm/64kg/22歳

◎主な戦績

2022第37回全日本ウエイト制軽量級優勝
2023西日本大会優勝
2023第38回・2024第39回全日本ウエイト制軽量級3位

一昨年の全日本ウエイト制で新設された軽量級の優勝者で、翌年から軽量級に階級を上げ、昨年と今年はいずれも3位に入賞して安定感を示した。特に今年の第39回大会ではヒット&アウェイの技術にさらに磨きがかかり、パワーのある相手に対しても十分打ち合える体幹の強さを感じさせた。小兵ながら、常にイメージするのは無差別という金子雄大の挑戦に期待したい。

男子Aブロック/No.23 HIGUCHI CHIHARU

樋口知春

ウエイト制2階級制覇で復活を証明
5年ぶり無差別は全てを懸けて戦う



ひぐち・ちはる

総本部道場、初段
171cm/75kg/27歳

◎主な戦績

2017第34回全日本ウエイト制中量級2位
2018第35回全日本ウエイト制中量級優勝
2024第39回全日本ウエイト制軽量級優勝

2年ぶりの復帰戦となった今年の全日本ウエイト制で2018年の中量級優勝に続く軽量級優勝で2階級制覇を達成。バランスの良い体軸から繰り出す攻撃は威力とスピードがあり、ポジションニングや試合中のスタイルチェンジなど戦略的にも卓越したセンスを見せる。無差別への挑戦は第12回世界大会以来5年ぶりとなるが、これまでの空手人生の全てを懸けて戦う覚悟だ。

男子Bブロック/No.24 IIZUKA TSUBASA

飯塚翼

テーマは「自分が主役になる大会」
ウエイト制3連覇の勢いで優勝狙う



いづか・つばさ

東京城北支部、初段
173cm/80kg/21歳

◎主な戦績

2022第53回全日本大会8位
2022第37回全日本ウエイト制軽量級優勝
2023第38回・2024第39回全日本ウエイト制中量級優勝

「自分が主役になる大会にしたい」と自信を持って語る飯塚翼。全日本ウエイト制中量級で連覇を遂げ、一昨年の軽量級も含めウエイト制3年連続優勝を飾るなど、今一番勢いに乗っている選手だ。中量級とは思えない突き蹴りの重さと無尽蔵のスタミナ、持ち前のスピードに加え、試合の流れを読むセンスは抜群。過去の全日本最高位は8位、初優勝して大会の主役になる。

男子Bブロック/No.29 TSUJI TAKAYUKI

辻 隆行

真正会軽量級優勝者が全日本初参戦
得意の突きが無差別で決まるのか!?



つじ・たかゆき

真正会、初段
164cm/61kg/24歳
◎主な戦績
2023第38回・2024第39回全日本ウエイト制軽量級2位
2024真正会ウエイト制全日本軽量級優勝

全日本ウエイト制で昨年・一昨年と2年連続で軽重量級準優勝の辻隆行。10月には真正会ウエイト制全日本軽量級で優勝を決め、改めて真正会軽量級のエースであることを証明した。得意技は切れのある突きのカウンター。全日本ウエイト制でも準々決勝、準決勝ともに鋭い突き技で一本勝ちを収めている。今大会最軽量 61kg の辻が無差別でどんな試合を見せるのか!?

男子Bブロック/No.34 OHATA RYOJI

大秦 稜司

自身の壁を突破し新たな勇姿に期待
完全復活を遂げるには優勝しかない



おおはた・りょうじ

京都支部、初段
170cm/80kg/23歳
◎主な戦績
2022第37回全日本ウエイト制中量級優勝
2022第54回全日本大会3位
2024第39回全日本ウエイト制中量級4位

若手有望株の筆頭として一昨年は全日本ウエイト制優勝や無差別全日本3位という輝かしい実績を残したが、昨年の世界大会は4回戦敗退。仕切り直しの全日本ウエイト制は4位と、思うような結果を出せずにいる。しかし、ここで試されるのが武道家としての人間力。心技体すべてを高め、自身の壁を突破して生まれ変わった姿を見せることができるのか、注目したい。

男子Bブロック/No.35 TANIGAWA SOYA

谷川 蒼哉

総本部道場の稽古で無差別対策も万全
得意の左上段蹴りで優勝圏内を狙う



たにがわ・そうや

総本部道場、初段
170cm/77kg/22歳
◎主な戦績
2021・2022真正会ウエイト制全日本中量級優勝
2023第38回全日本ウエイト制中量級4位
2024第39回全日本ウエイト制中量級2位

6月の全日本ウエイト制中量級は自身最高位の準優勝となった谷川蒼哉。また、昨年の世界大会では体格差のあるエキモフ・マクシムと激闘を繰り広げ、確かな可能性を明示した。総本部道場でコバレンコ・コンスタンティンや樋口知春と稽古をする中で無差別対策も万全。十八番の左上段蹴りは一打必倒、それ以外でも飛躍的に成長を見せ、一気に優勝圏内進出を狙う。

男子Bブロック/No.45 YAMAGAMI DAIKI

山上 大輝

一打必倒の上段前蹴りだけではない
スケールアップした組手で優勝を狙う



やまがみ・だいき

東京城北支部、初段
181cm/85kg/23歳
◎主な戦績
2022第54回全日本大会8位
2023第38回全日本ウエイト制中量級2位
2024第39回全日本ウエイト制軽重量級優勝

内定していた就職を断り、空手の世界に身を投じたこの1年。全日本ウエイト制軽重量級初戴冠と結果を出したが、その視線はまだまだ先を見ている。「目標は次の世界大会優勝」と断言する山上大輝は、今年になって大幅な肉体改造に踏み切り、スピードを落とさずパワーアップすることに成功。得意とする上段前蹴りだけではない、スケールアップした組手を披露する。

男子Cブロック/No.46 TUSSEAU ANTONIO

トゥセウ・アントニオ

世界大会4位は男子の実績最上位
33歳にして進化する組手で頂点へ



I.K.O.フランス、二段
184cm/97kg/33歳
◎主な戦績
2017ヨーロッパウエイト制軽重量級優勝
2017・2019オールアメリカンオープン優勝
2022・2024ヨーロッパウエイト制重量級優勝
2023第13回世界大会4位

今大会出場選手の中で実績的に最上位となる世界大会4位のトゥセウ・アントニオ。これまでヨーロッパやオールアメリカンでは華々しい活躍を誇っていたが、日本での入賞はこれが初。今年は5月のヨーロッパウエイト制重量級優勝。10月には世界団体戦準優勝と、33歳にして組手は進化の一途を辿っている。その経験と自信が最大限に発揮できれば頂点はすぐ目の前だ。

男子Cブロック/No.56 TOKUDA KANTA

徳田 寛大

ウエイト制や国際大会での実績は豊富
関西の雄、30歳の節目に大願成就を期す



とくだ・かんた

大阪南支部、初段
180cm/90kg/30歳
◎主な戦績
2018オールアメリカンオープン3位
2022第37回全日本ウエイト制軽重量級2位
2023第38回・2024第39回全日本ウエイト制軽重量級3位

「自分を戦いに駆り立てる原動力は、支えてくれる人たちのため」。2度の世界大会や国際大会などで修羅場をくぐってきた関西の雄は、そう言って憚らない。強烈な突き蹴りを武器に巧みな試合運びでリズムを掴んだときは、手の付けられない強さを発揮する。30歳とキャリアも長くなったが、全日本クラスの大会でまだ優勝の実績がないだけに、今年こそと大願成就を期す。

男子Cブロック／No.57 NISHIMURA TAIGA

西村大河

将来性と可能性を示す期待の重量級
躍動感あふれる組手で初優勝を狙う



にしむら・たいが

東京城北支部、初段
183cm／92kg／21歳
◎主な戦績
2022第37回全日本ウエイト制軽重量級3位
2023第38回全日本ウエイト制軽重量級4位
2024第39回全日本ウエイト制重量級3位

重量級選手の中で、極めて高い将来性や可能性を感じさせるのが西村大河だ。階級を上げて挑んだ全日本ウエイト制では、世界7位エキモフ・マクシムを追い詰める善戦を見せ、10月には世界団体戦に日本選手団の主将格として出場して日本の優勝に貢献すると同時に貴重な経験を積んだ。躍動感あふれる組手に勝負を俯瞰する冷静さが加われば、自ずと頂点が見えてくる。

男子Cブロック／No.62 SAKATA RYUSEI

坂田龍星

真正会を代表する存在、狙うのは
無差別での上段廻し蹴り一本勝ち



さかた・りゅうせい

真正会、式段
177cm／73kg／25歳
◎主な戦績
2022第37回全日本ウエイト制軽重量級3位
2024第39回全日本ウエイト制軽重量級4位
2024真正会ウエイト制全日本中量級優勝

一昨年に行われた全日本ウエイト制で、切れのある上段廻し蹴りを武器に軽重量級3位に入賞した坂田龍星。昨年は世界大会にも出場し、今年全日本ウエイト制でも軽重量級3位に入賞。さらに10月の真正会ウエイト制全日本中量級で優勝して3連覇を果たし、名実ともに真正会を代表する存在となった。2年前から肉体改造にも取り組み、優勝を虎視眈々と狙っている。

男子Cブロック／No.63 KIYAMA SHIYU

木山獅勇

軽重量級4位入賞、18歳の大型新人
初の無差別全日本で大物喰いに期待



きやま・しゅう

愛知県名古屋支部、初段
185cm／92kg／18歳
◎主な戦績
2023・2024愛知県大会優勝
2024第39回全日本ウエイト制軽重量級4位
2024西日本大会2位

地方大会で着実に実績を重ね、初出場の全日本ウエイト制では軽重量級4位に入賞した高校3年生の大型新人。フィジカル面に課題はあるが、遠い間合いから長いリーチを活かした多彩な蹴り技や相手の機先を制す勢いある攻撃など、組手に高いセンスが感じられる。18歳の若武者が、初の大舞台となる無差別全日本でどんな試合を見せてくれるのか刮目して見届けたい。

Cブロック／No.67 EKIMOV MAKSIM

エキモフ・マクシム

圧倒的な巨軀を誇り技術も一級品
世界7位が全日本の牙城を脅かす



I.K.O.ロシア、式段
190cm／110kg／27歳
◎主な戦績
2023第13回世界大会7位
2024第39回全日本ウエイト制重量級2位
2024全ロシア大会重量級2位

他を圧倒する190cm、110kgの巨軀とパワーに裏付けされた確かな技術で昨年の世界大会7位に入賞したエキモフ・マクシム。全日本ウエイト制では決勝戦で荒田昇毅に敗れて準優勝となったものの、改めてその強さを示した。あれから半年、エキモフは自国の道場で課題克服に取り組み、全日本制覇に絶対の自信を覗かせる。空手母国の牙城を崩すことができるか!?

Dブロック／No.68 NAVARRO ALEJANDRO

ナヴァロ・アレハンドロ

48歳にしていまだその実力は健在
“極真のレジェンド”を見逃すな



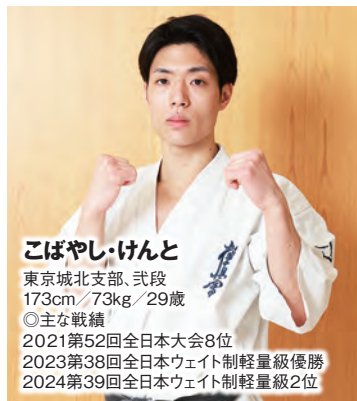
I.K.O.スペイン、参段
180cm／92kg／48歳
◎主な戦績
2012第44回全日本大会優勝
2013第5回全世界ウエイト制軽重量級優勝
2024ヨーロッパウエイト制軽重量級優勝

極真のレジェンド的存在でもあるナヴァロ・アレハンドロ。これまで全日本や全世界ウエイト制、ヨーロッパの各大会やオールアメリカンなどで計20回以上の優勝を積み上げ、約30年間にわたり世界のトップクラスで活躍を続けてきた。直近では10月のヨーロッパ無差別で準優勝を遂げ、今年48歳にしていまだ健在。飽くなき戦いを続けるナヴァロの勇姿を見逃すな!

男子Dブロック／No.72 KOBAYASHI KENTO

小林健人

全世界体重別へ向け退路を断つ覚悟
屈指の技巧派が優勝で切符を掴み取る



こばやし・けん

東京城北支部、式段
173cm／73kg／29歳
◎主な戦績
2021第52回全日本大会8位
2023第38回全日本ウエイト制軽重量級優勝
2024第39回全日本ウエイト制軽重量級2位

軽重量級連覇を目指した全日本ウエイト制は、決勝で樋口知春に惜敗して準優勝。小林健人は悲願でもある全世界体重別出場に向け、退路を断つ覚悟で今大会に臨む。軽重量級ながら重量級に負けない技のパワーと切れを持ち、屈指の技巧派でもある。無差別全日本は第52回大会の8位が最高位。今大会で並み居る大型選手を下して優勝と全世界体重別への切符を掴み取る。

男子Dブロック/No.73 SATO TAKUMI

佐藤拓海

一撃必殺の倒す組手が理想で真骨頂
世界大会技能賞から一気に優勝を狙う



さとう・たくみ

東京城西支部、二段
174cm/88kg/25歳

◎主な戦績

2020第52回全日本大会新人賞

2022第53回全日本大会6位

2023第13回世界大会技能賞

初出場となった昨年の世界大会ではベスト16に進出し、技能賞を獲得した佐藤拓海。今年から名門・東京城西支部の選手リーダーとなり、全日本ウェイト制では入賞こそ逃したが、そこで得た課題や経験を糧に、日々城西支部の多くの選手たちを牽引している。一撃必殺の倒す空手が佐藤の目標であり真骨頂。理想の戦いができたとき、優勝の二文字が現実味を帯びてくる。

男子Dブロック/No.79 OHATA REIJI

大秦零司

世界8位を破りトップ選手の仲間入り
能力を発揮できれば優勝も夢ではない



おおはた・りょうじ

京都支部、初段
172cm/89kg/23歳

◎主な戦績

2019・2020・2022西日本大会優勝

2022全関西大会優勝

2024第39回全日本ウェイト制軽重量級2位

これまで双子の弟・稜司に後れを取っていた感もあったが、全日本ウェイト制軽重量級で世界8位フェドシーフ・アレクセイや徳田寛大らの強豪を破って準優勝。弟に追い付くとともに、一皮むけた印象を与えた。強いフィジカルに支えられた的確なコンビネーションを軸に、上段蹴りのタイミングと切れ味は秀逸。自分の力を余すことなく発揮できれば優勝も夢ではない。

男子Dブロック/No.83 COSENTINO JINO

コセンティーノ・ジノ

ナヴァロから大金星を挙げた新星
欧州無差別優勝者が旋風を起こす



I.K.O.フランス、2級
181cm/80kg/25歳

◎主な戦績

2023・2024ヨーロッパウェイト制中量級優勝

2024ヨーロッパ無差別優勝

昨年行われたヨーロッパウェイト制で大秦稜司を下して中量級初優勝。今年は同大会で2連覇を飾ったが、181cmの長身で体重が80kgと線が細いイメージがあった。しかし、10月に行われたヨーロッパ無差別で、なんと決勝で歴戦の王者ナヴァロ・アレハンドロを破る大金星を挙げて初優勝。その勢いのまま、1カ月後の今大会でもジノ旋風を巻き起こすかもしれない！

男子Dブロック/No.84 TAKAGI SHIN

高木 信

真正会全日本制覇の自信を携えて
独自の技術で初の上位入賞を狙う



たかぎ・しん

東京城西世田谷東支部、初段
172cm/84kg/26歳

◎主な戦績

2021西日本大会優勝

2022第37回全日本ウェイト制軽重量級4位

2024真正会ウェイト制全日本重量級優勝

足掛けなど独自の技術を持ち、組手も独特の流れで進んでいく。それが高木信の持ち味だが、2度の世界大会出場や、過去には一大会の中で大秦零司・稜司のそれぞれから技有りを奪って下すなど記憶に残る試合も多い。さらに10月に行われた真正会ウェイト制全日本で重量級を制し、自身初めて全日本を冠する大会で優勝。その自信を携えて今大会で初の上位入賞を狙う。

女子Aブロック/No.101 KOJYO MINAMI

小城みなみ

一打必当の上段前蹴りは必見
伸び伸びした組手で優勝戦線に



こじょう・みなみ

千葉北支部、初段
170cm/63kg/20歳

◎主な戦績

2022東日本大会優勝

2023第38回全日本ウェイト制重量級4位

2024第39回全日本ウェイト制中量級優勝

昨年の世界大会出場で自信を付け、今年は全日本ウェイト制中量級優勝。170cmの長い足から放たれる上段前蹴りはスピード、タイミングともに抜群で相手は警戒していてももらってしまう。そんなシーンが全日本ウェイト制では何度も見られた。無差別全日本は初出場になるが、気負いはない。本来の伸び伸びした組手ができれば、優勝戦線に絡んでくることは間違いない。

女子Aブロック/No.107 KAWAI FUKA

河合風香

広島支部・女子の新たな期待の星
才能を発揮し初出場で上位を狙う



かわい・ふうか

広島支部、2級
170cm/64kg/26歳

◎主な戦績

2023西日本大会優勝

2024第39回全日本ウェイト制中量級2位

女子の台頭が著しい広島支部の新たな期待の星・河合風香。今年4月の国際親善大会・一般防具付きの部で優勝し、そこで得た経験や自信を携えて2カ月後の全日本ウェイト制では中量級準優勝とステップアップした。170cm、64kgの恵まれた身体は学生時代のバレーボールで培われたもの。そのポテンシャルを最大限に発揮して、初出場の全日本で上位進出を狙う。

女子Bブロック/No.108 OKADA SATSUKI

岡田 冴月

ユースのエリートが初の全日本出場
伸びしろしかない18歳の躍進に期待



おかだ・さつき

東京城西世田谷東支部、初段
166cm/72kg/18歳
◎主な戦績
2022西日本大会優勝
2024第39回全日本ウエイト制重量級3位

小学生時代から国際親善大会や極真祭で数々の優秀な成績を残してきた岡田冴月が、満を持しての無差別全日本初出場だ。これまで同じ支部出身の世界チャンピオン・永吉美優や世界大会日本代表の山崎乙乃をお手本にしてハードな稽古を続け、6月の全日本ウエイト制では重量級3位の実績を上げた。伸びしろしか感じられない期待の18歳、その躍進に期待したい。

女子Bブロック/No.115 ZABELINA ELIZAVETA

ザベリナ・エリザベータ

佐藤七海攻略にあと一步まで迫った強豪
I.K.O.ロシアの女王が日本初戴冠を狙う



I.K.O.ロシア、初段
172cm/70kg/23歳
◎主な戦績
2023第38回全日本ウエイト制重量級3位
2023第13回世界大会3位
2024全ロシア大会重量級優勝

昨年の世界大会でチャンピオンの佐藤七海を最も苦しめたのが、世界大会3位のザベリナ・エリザベータである。準決勝で対戦した両者、本戦序盤に強烈な突きの連打を浴びせ佐藤攻略にあと一步まで迫った。強豪揃いのI.K.O.ロシア、その全ロシア大会で昨年は無差別を制し、今年は重量級優勝。全く死角の見当たらないロシアの女王が、日本で初のタイトル奪取を誓う。

女子Cブロック/No.116 ZASORINA KSENIA

ザソリナ・クセニア

10年以上も活躍する女子のレジェンド
悲願の全日本優勝へ一直線に突き進む



I.K.O.ロシア、四段
177cm/65kg/35歳
◎主な戦績
2018世界女子ウエイト制中量級優勝
2021ヨーロッパウエイト制中量級優勝
2024全ロシア大会中量級優勝

男子のレジェンドがナヴァロ・アレハンドロだとすれば、女子はこのザソリナ・クセニアになるだろう。ヨーロッパ大会や自国の全ロシア大会で10年以上にわたりトップ戦線で活躍し、2018年には世界女子ウエイト制中量級で初優勝。その後も世界大会や世界女子ウエイト制では必ずと言っていいほど優勝候補に名前が挙がる。悲願達成へ、ザソリナが一直線に突き進む。

女子Cブロック/No.123 CHINEN LUKA

知念 琉花

171cmのスケールの大きい組手が特長
潜在能力が覚醒されれば優勝が現実



ちねん・るか
神奈川県横浜北支部、初段
171cm/68kg/23歳
◎主な戦績
2021東日本大会優勝
2021第53回全日本大会新人賞
2022第54回全日本大会3位

ユース時代から潜在的なポテンシャルは随一と言われた知念琉花。身長171cmは今大会の日本選手最長身で、長いリーチを活かしたスケールの大きい試合展開が特長だ。初優勝を目指した全日本ウエイト制では不覚をとったが、同じ轍は踏まないと強化稽古や強化合宿で自己研鑽に努めた。その潜在能力が覚醒されたとき、知念は表彰台の頂点に立っているに違いない。

女子Dブロック/No.124 TASAKI YUMA

田崎 佑麻

驚異的な復活を遂げた不屈のベテラン
4度目の全日本王座返り咲きを狙う



たさき・ゆま

広島支部、弐段
160cm/80kg/36歳
◎主な戦績
2011・2012・2014全日本女子大会優勝
2017世界女子ウエイト制軽量級優勝
2024第39回全日本ウエイト制重量級2位

レジェンド的存在は海外勢だけではない。日本のレジェンドと言えるのが、6月の全日本ウエイト制で驚異的な復活を遂げた田崎佑麻だ。田崎が最初に全日本ウエイト制で優勝したのは、なんと21年前の2003年。以降、各大会で数多の好成績を上げ、無差別全日本は3度の優勝を誇る。パワフルな攻撃、豊富なキャリア、不屈のメンタルで4度目の王座返り咲きを狙う。

女子Dブロック/No.130 MIYAMOTO JIN

宮本 神

世界団体戦で2つの合わせ一本勝ち
絶対の自信を得て優勝へ駆け上がる



みやもと・じん

本部直轄浅草道場、初段
167cm/72kg/23歳
◎主な戦績
2021第53回全日本大会敢闘賞
2023第38回全日本ウエイト制重量級2位
2024第39回全日本ウエイト制重量級優勝

優勝候補のトーナメント最後尾に配されたのは全日本ウエイト制重量級優勝者の宮本神。これまでアグレッシブな組手スタイルと重厚感あふれる突きのイメージが強い宮本だが、本来は変則的な蹴り技も得意。10月の世界団体戦では左上段蹴りでの技有りを含み、2つの合わせ一本勝ちで日本優勝の原動力になった。絶対の自信を得た宮本が優勝への階段を駆け上がる。

COMPETITOR'S LIST

A BLOCK



1
荒田 昇毅
ARATA SHOKI
183cm・98kg・37歳・武段
千葉海浜支部



2
高村 秋翔
TAKAMURA AKITO
175cm・70kg・19歳・初段
東京城西国分寺支部



3
前川 生向
MAEKAWA IBUKI
176cm・80kg・21歳・武段
山形支部



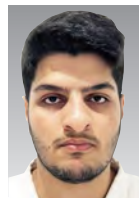
4
高田 悠一郎
TAKATA YUICHIRO
171cm・83kg・21歳・初段
東京城西支部



5
コンダ ブライス
KONDA BRICE
189cm・92kg・33歳・2級
I.K.O.FRANCE



6
西尾 咲哉
NISHIO SAKUYA
181cm・93kg・18歳・初段
岐阜支部



7
アルバヤティフセイン
AL-BAYATI HUSSEIN
178cm・125kg・20歳・初段
I.K.O.KUWAIT



8
天沼 優望
AMANUMA YUMI
165cm・75kg・22歳・初段
東京城西下北沢・町田支部



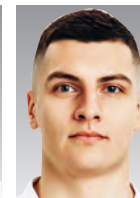
9
沼尾 晃司
NUMAO KOJI
170cm・85kg・26歳・初段
栃木南支部



10
ハン サンボム
HAN SANG BEOM
180cm・85kg・26歳・初段
I.K.O.KOREA



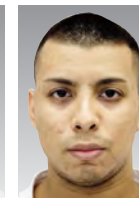
11
清水 祐貴
SHIMIZU YUKI
171cm・77kg・29歳・初段
東京城北支部



12
ポリャコフ イリヤ
POLIAKOV ILIA
185cm・86kg・27歳・武段
I.K.O.RUSSIA



13
宮本 靖祥
MIYAMOTO YASUNAGA
173cm・92kg・33歳・武段
練空武館



14
森川ルーカス
MORIKAWA LUCAS
182cm・86kg・29歳・1級
本部直轄東松山道場



15
アルタンゲレル メンドバヤル
ALTANGEREL MENDBAYAR
185cm・95kg・36歳・1級
I.K.O.MONGOLIA



16
李 權允
RI KAI
178cm・82kg・30歳・初段
神奈川横浜北支部



17
塩崎 快翔
SHIOZAKI KAITO
170cm・70kg・18歳・初段
長野支部



18
シピエン パトリック
SYPIEN PATRYK
185cm・102kg・34歳・参段
I.K.O.POLAND



19
金子 雄大
KANEKO YUDAI
165cm・64kg・22歳・武段
東京城西支部



20
平岩 皓太
HIRAIWA KOTA
180cm・85kg・41歳・武段
東京城北支部



21
原口 大輝
HARAGUCHI HIROKI
161cm・73kg・24歳・1級
東京城西世田谷東支部



22
ラソウルダラニ ユセフ
RASOULARDALANI YOUSEF
183cm・86kg・28歳・1級
I.K.O.IRAN



23
樋口 知春
HIGUCHI CHI HARU
171cm・75kg・27歳・初段
総本部道場

B BLOCK



24
飯塚 翼
IIZUKA TSUBASA
173cm・80kg・21歳・初段
東京城北支部



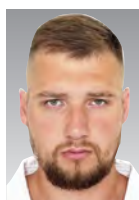
25
山田 太樹
YAMADA TAIKI
173cm・86kg・25歳・初段
千葉中央支部



26
澤村 海詠
SAWAMURA KAIEI
184cm・82kg・22歳・初段
東京城西国分寺支部



27
川端 翔
KAWABATA SHOU
172cm・90kg・22歳・武段
静岡富士支部



28
ゴリウシキン ダニル
GORIUSHKIN DANIL
195cm・112kg・26歳・武段
I.K.O.RUSSIA



29
辻 隆行
TSUJI TAKAYUKI
164cm・61kg・24歳・初段
真正会



30
アラビア オマール
ALRABIAH OMAR
168cm・77kg・34歳・武段
I.K.O.KUWAIT



31
橋田 陽彦
HASHIDA HARUHIKO
186cm・79kg・19歳・1級
東京城西世田谷東支部



32
平沢 拓巳
HIRASAWA TAKUMI
178cm・75kg・23歳・武段
東京城西支部



33
カポールチャリ モフセン
KAPOURCHALI MOHSEN
178cm・89kg・40歳・初段
I.K.O.IRAN



34
大秦 稜司
OHATA RYOJI
170cm・80kg・23歳・初段
京都支部



35
谷川 蒼哉
TANIGAWA SOYA
170cm・77kg・22歳・初段
総本部道場



36
外川 勝宗
SOTOKAWA MASAMUNE
175cm・75kg・20歳・初段
大阪南支部



37
杉山 徳
SUGIYAMA ATSUSHI
173cm・79kg・41歳・武段
東京城北支部



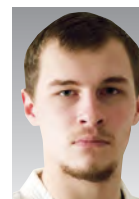
38
荒井 瑞生
ARAI MIZUKI
164cm・72kg・27歳・武段
福島地区道場



39
藤田 温
FUJITA HARU
170cm・70kg・21歳・初段
東京城西国分寺支部



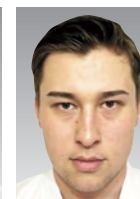
40
秋山 大知
AKIYAMA DAICHI
178cm・89kg・20歳・初段
東京城西世田谷東支部



41
シャブロフ ニキータ
SHABUROV NIKITA
187cm・90kg・23歳・1級
I.K.O.RUSSIA



42
岩田 大
IWATA DAI
180cm・100kg・28歳・武段
神奈川横浜港南支部



43
田水 春樹
TAMIZU HARUKI
181cm・105kg・20歳・初段
東京城西支部

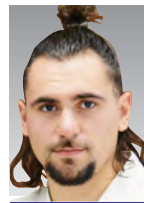


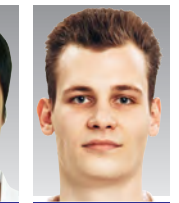





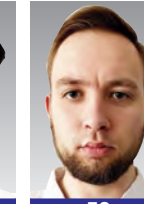





44
村岡 賢和
MURAKAWA YOSHIHAZU
180cm・101kg・43歳・武段
総本部札幌道場

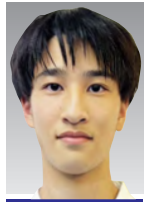
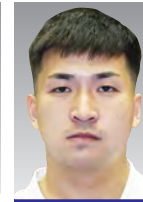






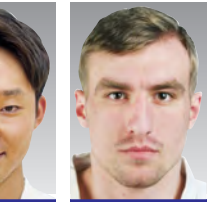


45
山上 大輝
YAMAGAMI DAIKI
181cm・85kg・23歳・初段
東京城北支部





C BLOCK



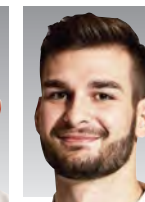





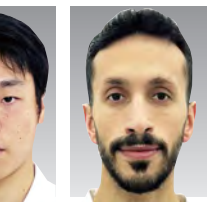
 46 トゥセウ アントニオ TUSSEAU ANTONIO 184cm・97kg・33歳・初段 I.K.O.FRANCE	 47 金久保典幸 KANAKUBO NORIYUKI 167cm・83kg・48歳・初段 東京城西世田谷東支部	 48 近藤 勝矢 KONDO KATSUYA 168cm・72kg・28歳・初段 山口支部	 49 グリンスキー ヴラディスラフ GLINSKIKH VLADISLAV 194cm・92kg・23歳・初段 I.K.O.RUSSIA
--	--	--	---









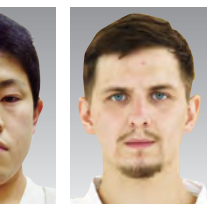
 50 平山 尚樹 HIRAYAMA NAOKI 174cm・76kg・24歳・初段 東京城西支部	 51 兼久啓太郎 KANEHISA KEITARO 179cm・88kg・25歳・初段 東京城北支部	 52 北村 佳祐 KITAMURA KEISUKE 173cm・78kg・27歳・初段 東京城西国分寺支部	 53 マクシモビッチ フィリップ MAKSYMOWICZ FILIP 192cm・104kg・26歳・初段 I.K.O.POLAND	 54 新井 遼平 ARAI RYOHEI 165cm・65kg・19歳・初段 神奈川横浜北支部	 55 阿部 有騎 ABE YUKI 174cm・70kg・20歳・1級 総本部横須賀道場	 56 徳田 寛大 TOKUDA KANTA 180cm・90kg・30歳・初段 大阪南支部	 57 西村 大河 NISHIMURA TAIGA 183cm・92kg・21歳・初段 東京城北支部	 58 神崎 凌 KANZAKI RYO 178cm・98kg・26歳・初段 千葉中央支部
---	---	--	---	--	---	---	--	---

 59 穂山 和斗 AKIYAMA KAZUTO 185cm・90kg・19歳・初段 東京城西支部	 60 長澤 龍馬 NAGASAWA RYOMA 170cm・80kg・22歳・初段 北大阪支部	 61 アリウンボルト トゥルオチル ARIUNBOLD TUR-OCHIR 187cm・98kg・35歳・初段 I.K.O.MONGOLIA	 62 坂田 龍星 SAKATA RYUSEI 177cm・73kg・25歳・初段 真正会	 63 木山 獅勇 KIYAMA SHIYU 185cm・92kg・18歳・初段 愛知県名古屋支部	 64 ナカノ ソウタ NAKANO SOTA 172cm・77kg・32歳・初段 I.K.O.USA	 65 堀田 知示 HOTTA TOMOMI 173cm・88kg・40歳・初段 愛知東南支部	 66 道堂 広大 DODO KODAI 173cm・77kg・23歳・初段 石川支部	 67 エキモフ マクシム EKIMOV MAKSIM 190cm・110kg・27歳・初段 I.K.O.RUSSIA
---	--	---	---	---	---	--	---	---

D BLOCK

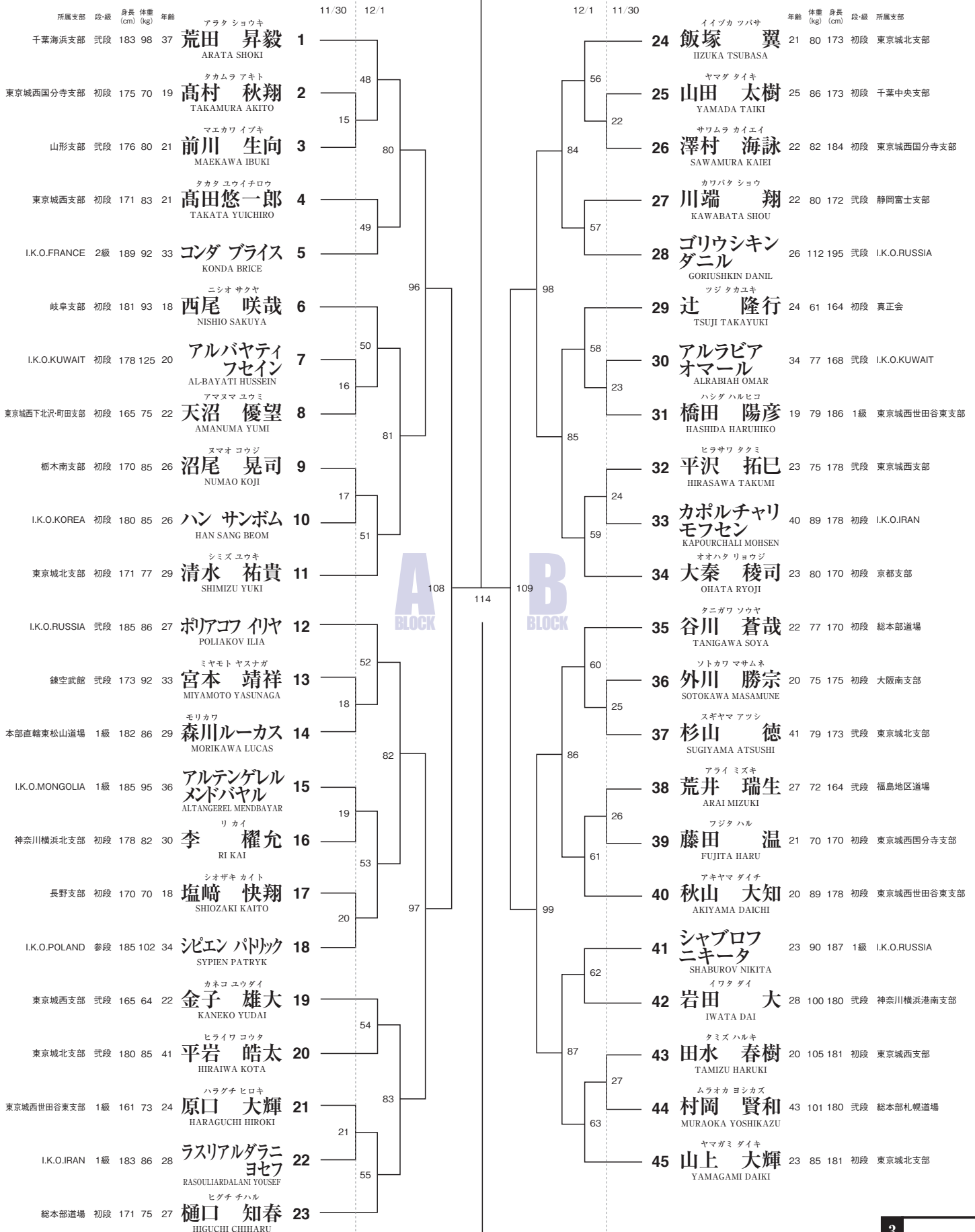
 68 ナヴァロ アレハンドロ NAVVARO ALEJANDRO 180cm・92kg・48歳・参段 I.K.O.SPAIN	 69 小野里 リース 拳真 ONOSATO RHYS KENSHIN 176cm・81kg・21歳・初段 埼玉南支部	 70 中島 寛高 NAKASHIMA HIROTAKA 169cm・82kg・35歳・初段 東京城西国分寺支部	 71 マモウディアス ルフマン MAHMOUDIASI HOUMAN 188cm・105kg・40歳・1級 I.K.O.IRAN
--	---	--	---

 72 小林 健人 KOBAYASHI KENTO 173cm・73kg・29歳・初段 東京城北支部	 73 佐藤 拓海 SATO TAKUMI 174cm・88kg・25歳・初段 東京城西支部	 74 ヤロネク クリシュトフ JELONEK KRZYSZTOF 188cm・93kg・25歳・初段 I.K.O.POLAND	 75 笠原 佑斗 KASAHARA YUUTO 171cm・87kg・34歳・初段 鎌空武館	 76 金田 貴裕 KANEDA TAKAHIRO 173cm・75kg・29歳・初段 東京城西下北沢・町田支部	 77 川村 龍馬 KAWAMURA RYOMA 167cm・77kg・28歳・初段 三重東道場	 78 グセイクラシヤド GUSEINOV RASHAD 184cm・95kg・20歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 79 大秦 零司 OHATA REIJI 172cm・89kg・23歳・初段 京都支部	 80 アルジュマ アフマド ALJUMAH AHMAD 179cm・79kg・29歳・2級 I.K.O.KUWAIT
--	--	--	---	--	--	--	--	---

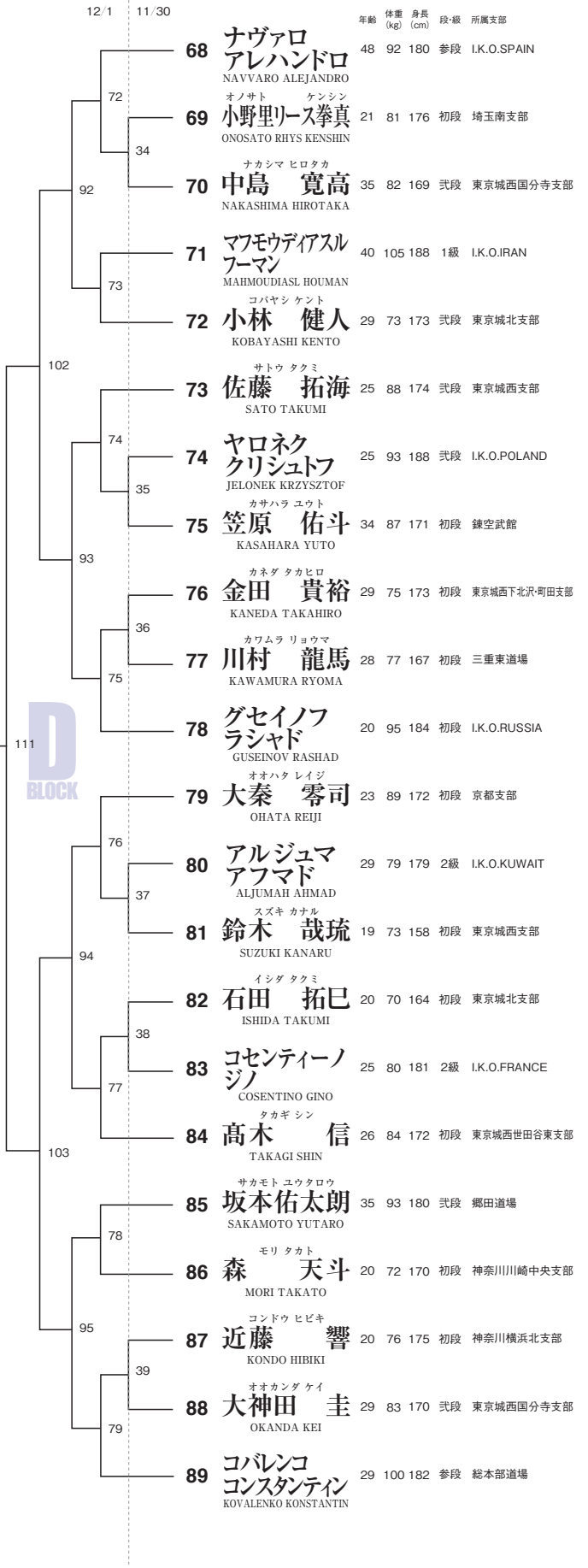
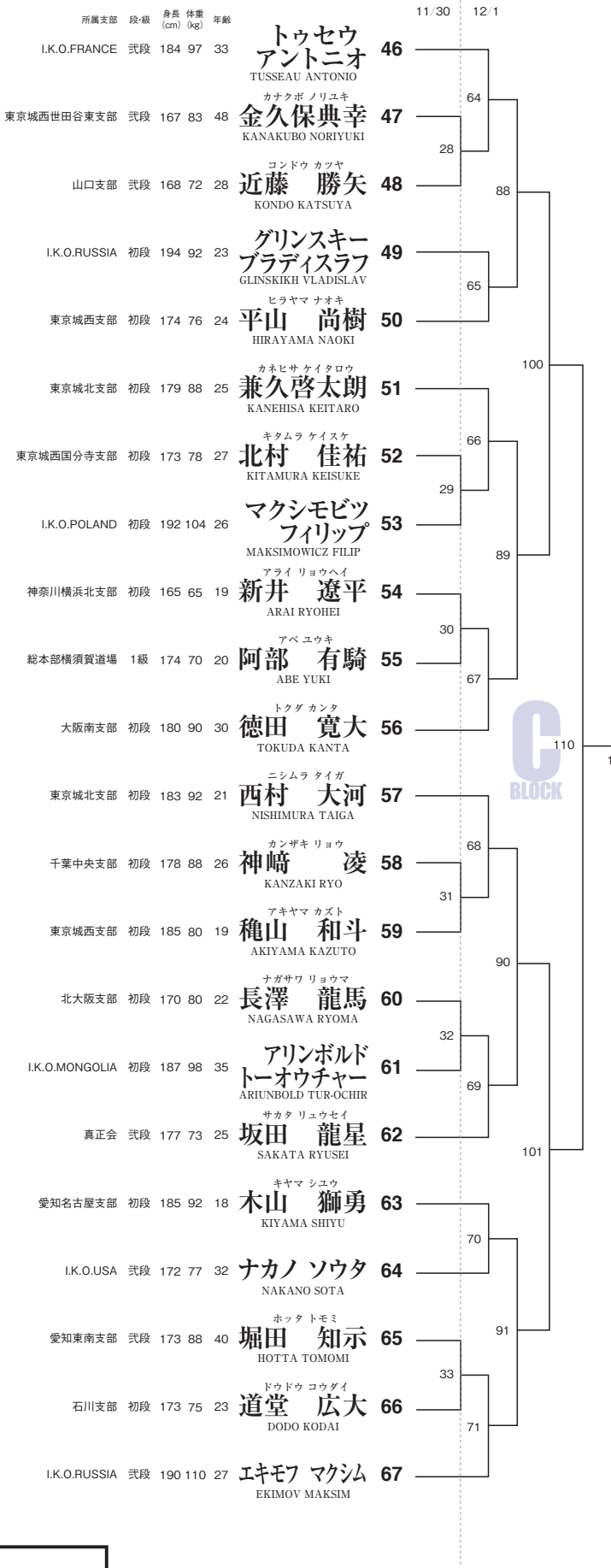
 81 鈴木 哉琉 SUZUKI KANARU 158cm・73kg・19歳・初段 東京城西支部	 82 石田 拓巳 ISHIDA TAKUMI 164cm・70kg・20歳・初段 東京城北支部	 83 コゼンティーノ ジノ COSENTINO GINO 181cm・90kg・25歳・2級 I.K.O.FRANCE	 84 高木 信 TAKAGI SHUN 172cm・84kg・26歳・初段 東京城西世田谷東支部	 85 坂本佑太郎 SAKAMOTO YUTARO 180cm・93kg・35歳・初段 郷田道場	 86 森 天斗 MORI TAKATO 170cm・72kg・20歳・初段 神奈川川崎中央支部	 87 近藤 響 KONDO HIBIKI 175cm・76kg・20歳・初段 神奈川横浜北支部	 88 大神田 圭 OKANDA KEI 170cm・83kg・29歳・初段 東京城西国分寺支部	 89 コヴァレンコ コンスタンティン KOVALENKO KONSTANTIN 182cm・100kg・29歳・参段 総本部道場
--	--	--	---	--	--	---	--	---

第56回オープントーナメント全日本空手道選手権大会(男子)

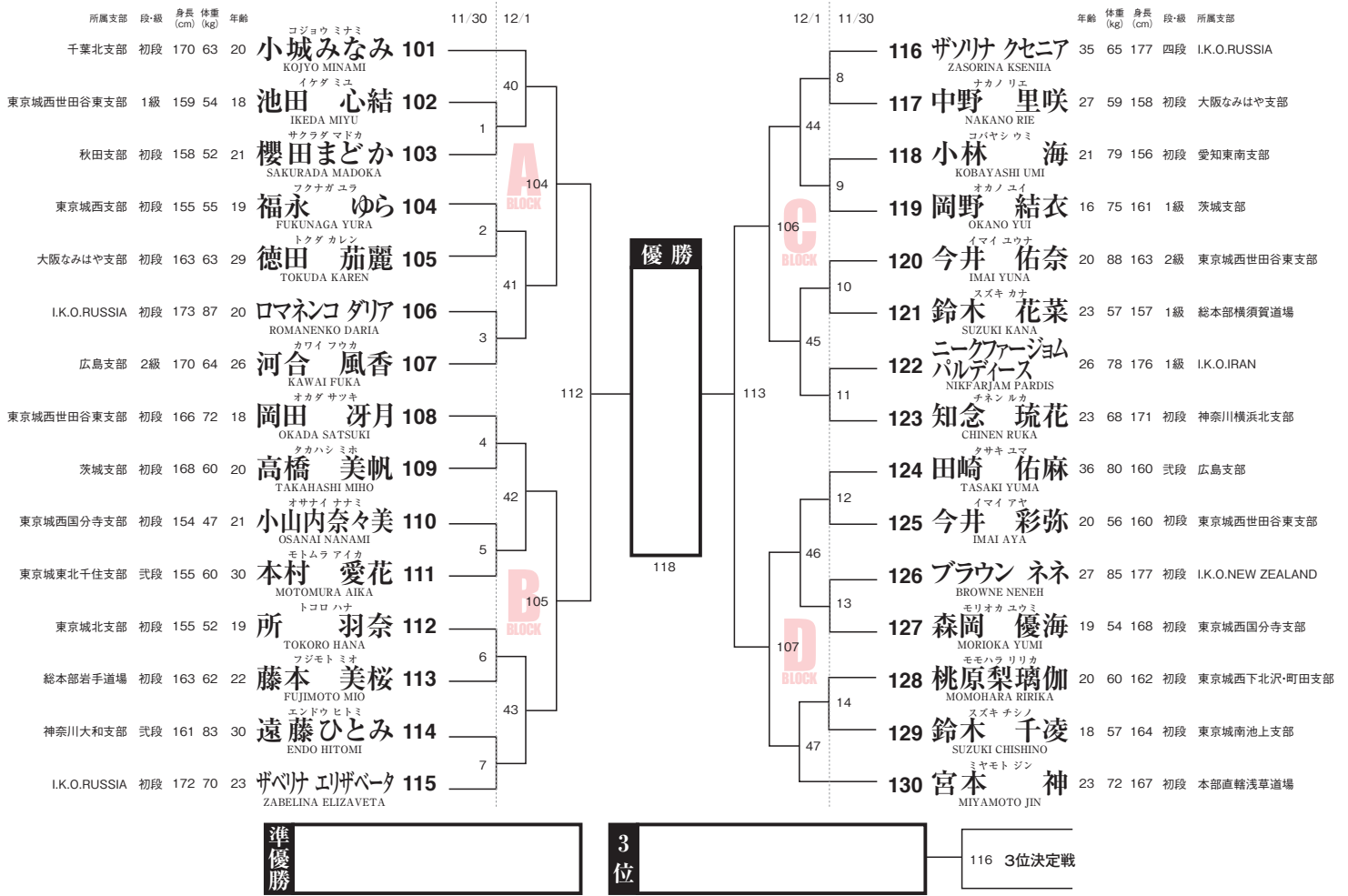
優



3位



第56回オープントーナメント全日本空手道選手権大会(女子)



第56回オープントーナメント全日本空手道選手権大会(女子) 出場選手一覧



試割表(男子) / 入賞者

Aブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

Cブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

Bブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

Dブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

第56回全日本空手道選手権大会 男子入賞者

優勝

準優勝

第3位

第4位

第5位

第6位

第7位

第8位

第56回全日本空手道選手権大会 女子入賞者

優勝

準優勝

第3位

第4位

敢闘賞

技能賞

新人賞

試割賞(男子) (枚)



1969-2023

全日本・全世界空手道選手権大会 歴代入賞者一覧(男子)

第1回全日本空手道選手権大会

1969年9月20日◎東京体育館
優勝：山崎照朝
2位：添野義二
3位：長谷川一幸
4位：朴 邦治
5位：ポール・ジャクソン
6位：利川重男

第2回全日本空手道選手権大会

1970年9月26日◎東京体育館
優勝：長谷川一幸
2位：山崎照朝
3位：添野義二
4位：増田賢一
5位：金 次憲
6位：佐藤定志

第3回全日本空手道選手権大会

1971年10月24日◎東京体育館
優勝：佐藤勝昭
2位：大山泰彦
3位：大石代悟
4位：三浦美幸
5位：金城健一
6位：吉岡幸男

第4回全日本空手道選手権大会

1972年10月22日◎東京体育館
優勝：三浦美幸
2位：ハワード・コリンズ
3位：佐藤俊和
4位：山崎照朝
5位：添野義二
6位：今泉幸久

第5回全日本空手道選手権大会

1973年11月4日◎東京体育館
優勝：盧山初雄
2位：山崎照朝
3位：佐藤俊和
4位：佐藤勝昭
5位：富重宣資
6位：松友登喜良
7位：浜井謙安
8位：二宮城光

第6回全日本空手道選手権大会

1974年11月9日～10日◎東京体育館
優勝：佐藤勝昭
2位：東 孝
3位：盧山初雄
4位：西田幸夫
5位：佐藤俊和
6位：大石代悟

7位：山田政彦

8位：三瓶啓二

第1回全世界空手道選手権大会

(第7回全日本大会を兼ねる)
1975年11月1日～2日◎東京体育館

優勝：佐藤勝昭

2位：盧山初雄

3位：二宮城光

4位：大石代悟

5位：佐藤俊和

6位：東 孝

7位：チャールズ・マーチン

8位：フランク・クラーク

第8回全日本空手道選手権大会

1976年10月30日～31日◎東京体育館

優勝：佐藤俊和

2位：二宮城光

3位：東 孝

4位：沢柳俊夫

5位：三瓶啓二

6位：エディー・フレイジャー

7位：野口敏郎

8位：中山 明

第9回全日本空手道選手権大会

1977年11月5日～6日◎東京体育館

優勝：東 孝

2位：中山猛夫

3位：中村 誠

4位：浜井謙安

5位：中村辰夫

6位：三瓶啓二

7位：廣重 毅

8位：斎藤良二

第10回全日本空手道選手権大会

1978年11月18日～19日◎東京体育館

優勝：二宮城光

2位：三瓶啓二

3位：中村 誠

4位：廣重 毅

5位：三好一男

6位：瀬戸秀二

7位：鈴木 勝

8位：川畑幸一

第11回全日本空手道選手権大会

1979年5月18日◎東京体育館

優勝：中村 誠

2位：三瓶啓二

3位：東 孝

4位：野口敏郎

5位：廣重 毅

6位：三好一男

7位：川畑幸一

8位：立崎辰雄

第2回全世界空手道選手権大会

1979年11月23日～25日◎日本武道館

優勝：中村 誠

2位：三瓶啓二

3位：ウィリー・ウィリアムス

4位：東 孝

5位：ハワード・コリンズ

6位：バーナード・クレトン

7位：セノ・マクサー

8位：川畑幸一

第12回全日本空手道選手権大会

1980年11月15日～16日◎東京体育館

優勝：三瓶啓二

2位：中村 誠

3位：為永 隆

4位：松井章圭

5位：矢島史郎

6位：ミカエル・ソーデルクビスト

7位：竹山晴友

8位：白石昌幸

第13回全日本空手道選手権大会

1981年11月14日～15日◎東京体育館

優勝：三瓶啓二

2位：中村 誠

3位：松井章圭

4位：白石昌幸

5位：三好一男

6位：田中正文

7位：竹山晴友

8位：前田政利

第14回全日本空手道選手権大会

1982年11月13日～14日◎東京体育館

優勝：三瓶啓二

2位：水口敏夫

3位：松井章圭

4位：三好一男

5位：竹山晴友

6位：アデミール・ダ・コスタ

7位：脇内 勉

8位：増田 章

敢闘賞：アデミール・ダ・コスタ

増田 章

新人賞：山岡哲基

第15回全日本空手道選手権大会

1983年11月12日～13日◎東京体育館

優勝：大西靖人

2位：小笠原和彦

3位：竹山晴友

4位：三好一男

5位：増田 章

6位：水口敏夫

7位：三瓶啓二

8位：松井章圭

敢闘賞：大西靖人

新人賞：藤田耕太郎

第3回全世界空手道選手権大会

1984年1月20日～22日◎日本武道館

優勝：中村 誠

2位：三瓶啓二

3位：松井章圭

4位：アデミール・ダ・コスタ

5位：大西靖人

6位：ニコラス・ダ・コスタ

7位：田原敬三

8位：テイブ・グリーブス

敢闘賞：ジェームス北村

第16回全日本空手道選手権大会

1984年11月3日～4日◎東京体育館

優勝：黒澤浩樹

2位：竹山晴友

3位：水口敏夫

4位：木元正資

5位：小笠原和彦

6位：五来克仁

7位：敷島知章

8位：湯澤元美

敢闘賞：七戸康博

新人賞：奥村啓治

第17回全日本空手道選手権大会

1985年11月3日～4日◎東京体育館

優勝：松井章圭

2位：黒澤浩樹

3位：増田 章

4位：ジェームス北村

5位：緑 健児

6位：大賀雅裕

7位：内山武盛

8位：小井義和

敢闘賞：緑 健児

新人賞：岡本信夫

第18回全日本空手道選手権大会

1986年11月2日～3日◎代々木第一体育館

優勝：松井章圭

2位：増田 章

3位：八巻建志

4位：小井義和

5位：七戸康博

6位：奥村幸一

7位：小笠原和彦

8位：桑島保浩

敢闘賞：ミッシェル・ウェーデル

技能賞：豊田宜邦

新人賞：ウシュリフ・ジョアド

ピーター・スミット

第4回全世界空手道選手権大会

(第19回全日本大会を兼ねる)

1987年11月6日～8日◎日本武道館

優勝：松井章圭

2位：アンディ・フグ

3位：増田 章

4位:マイケル・トンブソン
5位:アデミール・ダ・コスタ
6位:黒澤浩樹
7位:七戸康博
8位:ニコラス・ダ・コスタ
敢闘賞:ジェフリー・セベクル
技能賞:緑 健児
試割賞:スピゲニウ・マタシ (22枚)

第20回全日本空手道選手権大会
1988年11月19日～20日◎両国国技館
優勝:桑島保浩
2位:石井 豊
3位:八巻建志
4位:山口 徹
5位:高橋 衛
6位:ホセイン・サディカマル
7位:草階 誠
8位:柴田英樹
敢闘賞:高橋 衛
技能賞:吉岡 智
試割賞:柚井知志 (25枚)
新人賞:石井 豊

第21回全日本空手道選手権大会
1989年12月23日～24日◎両国国技館
優勝:八巻建志
2位:田村悦宏
3位:桑島保浩
4位:増田 章
5位:川本英児
6位:石井 豊
7位:滝田 巖
8位:七戸康博
敢闘賞:アビブ・ザルコ
技能賞:ステファン・タキフ
試割賞:川本英児 (22枚)
新人賞:川本英児

第22回全日本空手道選手権大会
1990年12月1日～2日◎東京体育館
優勝:増田 章
2位:緑 健児
3位:岩崎達也
4位:外館慎一
5位:三明広幸
6位:南 豪宏
7位:内山武盛
8位:八巻建志
敢闘賞:三明広幸
技能賞:緑 健児
試割賞:阿部清文 (24枚)
新人賞:南 豪宏

第5回全世界空手道選手権大会
(第23回全日本大会を兼ねる)
1991年11月2日～4日◎東京体育館
優勝:緑 健児
2位:増田 章
3位:黒澤浩樹
4位:ジャン・リビエール
5位:八巻建志
6位:石井 豊
7位:七戸康博
8位:ジョニー・クレイン
敢闘賞:フランシスコ・フィリオ
技能賞:マイケル・トンブソン
試割賞:阿部清文 (24枚)

第24回全日本空手道選手権大会
1992年10月31日～11月1日◎東京体育館
優勝:田村悦宏
2位:数見 肇
3位:岡本 徹
4位:七戸康博
5位:石井 豊
6位:杉村多一郎
7位:八巻建志
8位:小川俊一
敢闘賞:数見 肇
技能賞:岡本 徹
試割賞:阿部清文 (31枚)

第25回全日本空手道選手権大会
1993年10月29日～30日◎東京体育館
優勝:数見 肇
2位:田村悦宏
3位:岡本 徹
4位:七戸康博
5位:青木英憲
6位:黒澤浩樹
7位:八巻建志

8位:野上利幸
試割賞:数見 肇 (23枚)

第26回全日本空手道選手権大会
1994年10月29日～30日◎東京体育館
優勝:八巻建志
2位:数見 肇
3位:市村直樹
4位:岡本 徹
5位:吾孫子功二
6位:塚本徳臣
7位:谷川 光
8位:川原奈穂樹
敢闘賞:塚本徳臣
技能賞:川原奈穂樹
試割賞:数見 肇 (26枚)

第6回全世界空手道選手権大会
(第27回全日本大会を兼ねる)
1995年11月3日～5日◎東京体育館
優勝:八巻建志
2位:数見 肇
3位:フランシスコ・フィリオ
4位:ギャリー・オニール
5位:ニコラス・ベタス
6位:黒澤浩樹
7位:ルシアノ・バジレ
8位:グラウベ・フェイトーザ
敢闘賞:黒澤浩樹
技能賞:成嶋 竜
試割賞:ウォルター・シュナーベルト (29枚)

第28回全日本空手道選手権大会
1996年11月3日～4日◎東京体育館
優勝:数見 肇
2位:ギャリー・オニール
3位:高久昌義
4位:高尾正紀
5位:市村直樹
6位:ウォルター・シュナーベルト
7位:田村悦宏
8位:堀池典久
敢闘賞:野地竜太
技能賞:成嶋 竜
試割賞:数見 肇 (29枚)

第29回全日本空手道選手権大会
1997年11月1日～2日◎東京体育館
優勝:数見 肇
2位:ギャリー・オニール
3位:堀池典久
4位:田村悦宏
5位:守友完矢
6位:市村直樹
7位:高尾正紀
8位:岩崎達也
敢闘賞:岩崎達也
技能賞:ギャリー・オニール
試割賞:ウォルター・シュナーベルト (25枚)

第30回全日本空手道選手権大会
1998年11月14日～15日◎東京体育館
優勝:数見 肇
2位:田村悦宏
3位:木山 仁
4位:野地竜太
5位:高久昌義
6位:市村直樹
7位:門井敦嗣
8位:木村靖彦
敢闘賞:木立裕之
技能賞:伊藤 慎
試割賞:岩崎達也 (27枚)

第7回全世界空手道選手権大会
(第31回全日本大会を兼ねる)
1999年11月5日～7日◎東京体育館
優勝:フランシスコ・フィリオ
2位:数見 肇
3位:アレキサンダー・ビチュクノフ
4位:グラウベ・フェイトーザ
5位:ニコラス・ベタス
6位:木村靖彦
7位:野地竜太
8位:成嶋 竜
敢闘賞:福田達也
技能賞:成嶋 竜
試割賞:エミル・コストフ (25枚)

第32回全日本空手道選手権大会
2000年11月4日～5日◎東京体育館
優勝:木山 仁

2位:木村靖彦
3位:市村直樹
4位:木立裕之
5位:池田雅人
6位:伊藤 慎
7位:田中健太郎
8位:幸 龍敬
敢闘賞:子安慎悟
技能賞:伊藤 慎
試割賞:池田雅人 (24枚)

第33回全日本空手道選手権大会
2001年11月3日～4日◎東京体育館
優勝:木山 仁
2位:木村靖彦
3位:足立慎史
4位:市川雅也
5位:池田雅人
6位:池田祥規
7位:田中健太郎
8位:加藤達哉
敢闘賞:市川雅也
技能賞:池田雅人
試割賞:池田雅人 (29枚)

第34回全日本空手道選手権大会
2002年11月2日～3日◎東京体育館
優勝:数見 肇
2位:木山 仁
3位:田中健太郎
4位:徳田忠邦
5位:住谷 統
6位:入澤 群
7位:市村直樹
8位:洪 太星
敢闘賞:徳田忠邦
技能賞:木山 仁
試割賞:住谷 統 (23枚)
新人賞:洪 太星

第8回全世界空手道選手権大会
(第35回全日本大会を兼ねる)
2003年11月1日～3日◎東京体育館
優勝:木山 仁
2位:セルゲイ・ブレカノフ
3位:エヴェルトン・テイシェイラ
4位:グラウベ・フェイトーザ
5位:レチ・クルバノフ
6位:木村靖彦
7位:セルゲイ・オシボフ
8位:木立裕之
敢闘賞:木立裕之/エミル・コストフ
技能賞:田ヶ原正文
試割賞:セルゲイ・ブレカノフ (29枚)

第36回全日本空手道選手権大会
2004年11月6日～7日◎東京体育館
優勝:田中健太郎
2位:徳田忠邦
3位:ミハエル・コスロフ
4位:マキシム・デディック
5位:ダルメン・サドヴォカソフ
6位:森村謙信
7位:池本 理
8位:木立裕之
敢闘賞:ミハエル・コスロフ
技能賞:木立裕之
試割賞:徳田忠邦 (24枚)
新人賞:池本 理

第37回全日本空手道選手権大会
2005年11月5日～6日◎東京体育館
優勝:内田義晃
2位:塩島 修
3位:徳田忠邦
4位:加藤達哉
5位:沢田秀男
6位:田ヶ原正文
7位:市村直樹
8位:田中健太郎
敢闘賞:塩島 修
技能賞:田ヶ原正文
試割賞:内田義晃 (26枚)
新人賞:内田義晃

第38回全日本空手道選手権大会
2006年11月18日～19日◎東京体育館
優勝:内田義晃
2位:アルトゥール・ホヴァニシアン
3位:ディミトリー・ルネフ
4位:クリストフ・ハブラシカ
5位:木立裕之

6位:別府良建
7位:田中健太郎
8位:池本 理
敢闘賞:クリストフ・ハブラシカ
ディミトリー・ルネフ
試割賞:内田義晃 (29枚)
新人賞:原田聡一郎

第9回全世界空手道選手権大会
(第39回全日本大会を兼ねる)
2007年11月16日～18日◎東京体育館
優勝:エヴェルトン・テイシェイラ
2位:ヤン・ソウクック
3位:アルトゥール・ホヴァニシアン
4位:ダルメン・サドヴォカソフ
5位:アンドレイ・ステピン
6位:アレハンドロ・ナヴァロ
7位:エドアルド・タナカ
8位:村田達也
敢闘賞:村田達也
技能賞:アルトゥール・ホヴァニシアン
試割賞:レチ・クルバノフ (31枚)
新人賞:村田達也

第40回全日本空手道選手権大会
2008年11月1日～2日◎東京体育館
優勝:谷口 誠
2位:ザハリ・ダミヤノフ
3位:田中健太郎
4位:木立裕之
5位:村田達也
6位:赤石 誠
7位:イゴール・ティトウコフ
8位:森 善十郎
敢闘賞:ザハリ・ダミヤノフ
イゴール・ティトウコフ
試割賞:ヌルマガメド・マメドフ (29枚)

第41回全日本空手道選手権大会
2009年11月21日～22日◎東京体育館
優勝:田中健太郎
2位:アレハンドロ・ナヴァロ
3位:赤石 誠
4位:木立裕之
5位:ダルメン・サドヴォカソフ
6位:別府良建
7位:森 善十郎
8位:エドアルド・タナカ
敢闘賞:三田裕太/鎌田翔平
試割賞:ヌルマガメド・マメドフ (28枚)
新人賞:小林大起

第42回全日本空手道選手権大会
2010年11月20日～21日◎東京体育館
優勝:タリエル・ニコラシヴィリ
2位:森 善十郎
3位:田中健太郎
4位:沢田秀男
5位:荒田昇毅
6位:小林大起
7位:レチ・クルバノフ
8位:鎌田翔平
敢闘賞:中村昌永
技能賞:森 善十郎
試割賞:荒木 聡 (22枚)
新人賞:高橋佑汰

第10回全世界空手道選手権大会
(第43回全日本大会を兼ねる)
2011年11月4日～6日◎東京体育館
優勝:タリエル・ニコラシヴィリ
2位:エヴェルトン・テイシェイラ
3位:ゴデルジ・カバナーゼ
4位:赤石 誠
5位:ザハリ・ダミヤノフ
6位:ニコライ・ダウイドフ
7位:オレクサンダー・イェロメンコ
8位:イリヤ・カルベンコ
敢闘賞:ゴデルジ・カバナーゼ
技能賞:澤村勇太
試割賞:ザハリ・ダミヤノフ (24枚)
若獅子賞:タリエル・ニコラシヴィリ

第44回全日本空手道選手権大会
2012年11月3日～4日◎両国国技館
優勝:アレハンドロ・ナヴァロ
2位:ゴデルジ・カバナーゼ
3位:荒田昇毅
4位:ダルメン・サドヴォカソフ
5位:イリヤ・カルベンコ
6位:安島喬平
7位:鎌田翔平

8位：森 善十郎
敢闘賞：高橋佑汰
技能賞：森 善十郎
新人賞：加賀健弘/デビッド・シャルコジャン
試割賞：イリヤ・カルベンコ (24枚)

第45回全日本空手道選手権大会
2013年11月2日～3日◎東京体育館
優勝：安島喬平
2位：アレハンドロ・ナヴァロ
3位：キリル・コチュネフ
4位：小沼隆一
5位：鎌田翔平
6位：イヴァン・メゼンツェフ
7位：上田幹雄
8位：デビッド・シャルコジャン
敢闘賞：中村昌永
技能賞：上田幹雄
新人賞：石崎恋之介/上田幹雄
中島千博/イヴァン・メゼンツェフ
試割賞：ニコライ・ダヴィドフ (22枚)

第46回全日本空手道選手権大会
2014年11月2日～3日◎東京体育館
優勝：ダルメン・サドヴォカソフ
2位：荒田昇毅
3位：森 善十郎
4位：鎌田翔平
5位：イリヤ・カルベンコ
6位：上田幹雄
7位：高橋佑汰
8位：キリル・コチュネフ
技能賞：森 善十郎/イリヤ・カルベンコ
試割賞：ジマ・ベルコジャ (25枚)
新人賞：山田拓馬/谷川聖哉

第11回全世界空手道選手権大会
(第47回全日本大会を兼ねる)
2015年11月20日～22日◎東京体育館
優勝：ザハリ・ダミヤノフ
2位：ジマ・ベルコジャ
3位：ダルメン・サドヴォカソフ
4位：キリル・コチュネフ
5位：アショット・ザリヤン
6位：上田幹雄
7位：イヴァン・メゼンツェフ
8位：荒田昇毅
敢闘賞：アショット・ザリヤン
技能賞：高橋佑汰
試割賞：デビッド・シャルコジャン (25枚)
若獅子賞：南原健太

第48回全日本空手道選手権大会
2016年11月5日～6日◎東京体育館
優勝：鎌田翔平
2位：高橋佑汰
3位：上田幹雄
4位：荒田昇毅
5位：アショット・ザリヤン
6位：コンスタンティン・コバレンコ
7位：谷川聖哉
8位：エルダー・イスマイロフ
敢闘賞：谷川聖哉
技能賞：鎌田翔平
試割賞：デビッド・ナボイアン (24枚)
新人賞：アントン・グリアエフ
ベイ・ノア

第49回全日本空手道選手権大会
2017年11月3日～4日◎東京体育館
優勝：高橋佑汰
2位：鎌田翔平
3位：荒田昇毅
4位：上田幹雄
5位：アショット・ザリヤン
6位：ゴデルジ・カバナーゼ
7位：南原健太
8位：オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞：亘 和孝
技能賞：中島千博
試割賞：アンドレイ・ルジン (22枚)
新人賞：高橋扶汰/奥寺勇輝

第50回全日本空手道選手権大会
2018年10月27日～28日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：上田幹雄
2位：鎌田翔平
3位：荒田昇毅
4位：キリル・コチュネフ
5位：アンドレイ・ルジン
6位：高橋佑汰

7位：アントン・グリアエフ
8位：オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞：アントン・グリアエフ
試割賞：西村界人 (22枚)
新人賞：長澤大和/山上大輝

第12回全世界空手道選手権大会
(第51回全日本大会を兼ねる)
2019年11月22日～24日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：上田幹雄
2位：オレクサンダー・イエロメンコ
3位：アンドレイ・ルジン
4位：高橋佑汰
5位：コンスタンティン・コバレンコ
6位：星龍之介
7位：イゴール・ザガイノフ
8位：荒田昇毅
敢闘賞：アショット・ザリヤン/星龍之介
技能賞：コンスタンティン・コバレンコ
試割賞：イリヤ・カルベンコ (28枚)
若獅子賞：イゴール・ザガイノフ
イカロ・ナシメント

第52回全日本空手道選手権大会
2020年11月29日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：コンスタンティン・コバレンコ

全日本・全世界空手道選手権大会 歴代入賞者一覧(女子)

1996全国女子交流大会
1996年9月16日◎京都市武道センター
優勝：江口美幸
2位：那須潤子
3位：守屋 円
4位：渡邊雅子

1997全日本女子空手道選手権大会
1997年10月12日
◎台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝：江口美幸
2位：中村章子
3位：守屋 円
4位：渡邊雅子

1998全日本女子空手道選手権大会
1998年9月27日
◎台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝：藤田典子
2位：岩井夏美
3位：村上知美
4位：原小夜子

2000全日本女子空手道選手権大会
2000年2月27日◎代々木第二体育館
優勝：中村章子
2位：藤田典子
3位：岩井夏美
4位：原小夜子

2011全日本女子空手道選手権大会
2011年6月11日◎大阪府立体育会館
優勝：田崎佑麻
2位：太田菜月
3位：中村綾乃
4位：田中千尋

2011世界女子空手道選手権大会
2011年11月3日◎東京体育館
優勝：アナスタシア・クリブノフ
2位：ジュリー・ラマー
3位：エレナ・ヴォロビヨフ
4位：アンナ・カチンスカ

2012全日本女子空手道選手権大会
2012年8月26日◎京都府立体育館
優勝：田崎佑麻
2位：島田慧巳
3位：田中千尋
4位：中村綾乃

2013全日本女子空手道選手権大会
2013年8月25日◎京都府立体育館
優勝：横山友美

2位：西村界人
3位：清水祐貴
4位：石崎恋之介
5位：山川竜馬
6位：加賀健弘
7位：奥寺勇輝
8位：小林健人
敢闘賞：亘 和孝
技能賞：奥寺勇輝
試割賞/コンスタンティン・コバレンコ (25枚)
新人賞：佐藤拓海

第53回全日本空手道選手権大会
2022年4月17日◎東京体育館
優勝：西村界人
2位：山川竜馬
3位：加賀健弘
4位：コンスタンティン・コバレンコ
5位：清水祐貴
6位：佐藤拓海
7位：石崎恋之介
8位：飯塚 翼
敢闘賞：飯塚 翼
試割賞：西村界人 (28枚)
新人賞：岡部慎太郎

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日◎東京体育館

優勝：西村界人
2位：コバレンコ・コンスタンティン
3位：大森稜司
4位：荒田昇毅
5位：加賀健弘
6位：清水祐貴
7位：石崎恋之介
8位：山上大輝
敢闘賞：荒田昇毅
技能賞/大森稜司
試割賞/コンスタンティン・コバレンコ (22枚)
新人賞：西村大河

第13回全世界空手道選手権大会
(第55回全日本大会を兼ねる)
2023年11月17日～19日◎東京体育館
優勝：イエロメンコ・アレクサンダー
2位：西村界人
3位：ルジン・アンドレイ
4位：トゥセウ・アントニオ
5位：ザガイノフ・イゴール
6位：コバレンコ・コンスタンティン
7位：エキモフ・マクシム
8位：フェドシーフ・アレクセイ
敢闘賞：岡部慎太郎
技能賞：佐藤拓海/山上大輝
試割賞：ゴリウシキン・ダニル (28枚)
若獅子賞：コトフ・ボゴミル

2位：田崎佑麻
3位：島田慧巳
4位：小田幸奈

2014全日本女子空手道選手権大会
2014年8月24日◎京都府立体育館
優勝：田崎佑麻
2位：小田幸奈
3位：河原瑛里香
4位：横山友美

2015世界女子空手道選手権大会
2015年11月23日◎東京体育館
優勝：ウリアナ・グレベンシコフ
2位：エレナ・グルコ
3位：田中千尋
4位：アナスタシア・クリブノフ

2016全日本女子空手道選手権大会
2016年8月21日◎京都府立体育館
優勝：永吉美優
2位：砂川貴蘭
3位：小田幸奈
4位：島田慧巳

2017全日本女子空手道選手権大会
2017年11月3日～4日◎東京体育館
優勝：アナスタシア・カサノフ
2位：島田慧巳
3位：本村愛花
4位：小田幸奈

2018全日本女子空手道選手権大会
2018年10月27日～28日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：永吉美優
2位：佐藤七海
3位：アナスタシア・カサノフ
4位：イウリヤ・グリゴレフ

2019世界女子空手道選手権大会
2019年11月23日～24日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：永吉美優
2位：佐藤七海
3位：シャイネス・エルハイモフ
4位：アナスタシア・カサノフ
技能賞：シャイネス・エルハイモフ

2020全日本女子空手道選手権大会
2020年11月29日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：佐藤七海
2位：鶴沢菜南

3位：遠藤ひとみ
4位：山崎乙乃
敢闘賞：鶴沢菜南
技能賞：佐藤七海
新人賞：鶴沢菜南

2021全日本女子空手道選手権大会
2022年4月17日◎東京体育館
優勝：佐藤七海
2位：八幡華菜
3位：山崎乙乃
4位：本村愛花
敢闘賞：宮本 神
新人賞：知念琉花

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日◎東京体育館
優勝：鶴沢菜南
2位：佐藤七海
3位：知念琉花
4位：山崎乙乃
敢闘賞：知念琉花
技能賞：佐藤七海
新人賞：神田乙璃沙

第13回全世界空手道選手権大会
(第55回全日本大会を兼ねる)
2023年11月17日～19日◎東京体育館
優勝：佐藤七海
2位：鶴沢 菜南
3位：ザペリナ・エリザベータ
4位：コスロフ・エカテリーナ
敢闘賞：カザリアン・アレクサンドラ
技能賞：佐藤七海
若獅子賞：スベトローフ・アリーナ/イサ・マリナ
所 羽奈/森岡優海/小木戸琉奈

KYOKUSHIN NEW ITEM

2024 WINTER I.K.O. KYOKUSHINKAIKAN ORIGINAL NEW T-SHIRTS & HOODIE & GOODS



■ JAPAN レプリカTシャツ 黒 ¥4,840 (税込)
size 150-S-M-L-XL

■ JAPAN レプリカTシャツ 白 ¥4,840 (税込)
size 150-S-M-L-XL



■ 極真オリジナル 帆布ポストンバッグ
ブルーグレー/ブラウン 各¥19,800 (税込) size W.56cm×H.31cm
容量:約40L



■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 白 ¥6,930 (税込) size S-M-L-XL-XXL



■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 黒 ¥6,930 (税込) size S-M-L-XL-XXL



■ ヘッドガード収納付 極真デイバック ¥6,600 (税込)
size W.29cm×H.46cm×D.14cm 容量:約20L



■ TA-17 白 ¥4,400 (税込) size 130-150-S-M-L-XL



■ TA-17 黒 ¥4,400 (税込) size 130-150-S-M-L-XL



■ 一撃ハーフパンツ ¥5,940 (税込) size S-M-L-XL

■ 極真トレーニングパンツ ¥4,290 (税込) size S-M-L-XL-XXL



■ 残心Tシャツ ¥4,400 (税込) size 130-150-S-M-L-XL



■ きわむくんTシャツ ピンク ¥3,850 (税込) size 150-S-M-L



■ ICHIGEKI ラグランTシャツ 白/カーキ ¥3,740 (税込) size 130-150-S-M-L-XL



■ 一撃ワイドバスタオル ¥4,950 (税込)
size 1500mm×800mm



■ 一撃キックミット ¥6,600 (税込)



■ 一撃ビッグキックミット ¥11,110 (税込)



■ ステッカー「きわむくん」 ¥1,100 (税込)
size W210mm×H150mm



■ KYOKUSHIN
マフラータオル黒 ¥2,420 (税込) size 1100mm×250mm



■ 極真ガーゼタオル ¥1,320 (税込)
size W.91×H.34cm



■ ICHIGEKI
スーツケース型ポーチ ¥1,980 (税込) size 11×8×5.5cm



■ 新観空 (赤/黒)
クリアファイル ¥440 (税込) size A4



■ アクリルキーホルダー 各¥880 (税込)

※在庫有りの商品も欠品、販売終了になる場合がございます。また予告なく価格が変更になる場合がございます。詳しくは「一撃オフィシャルショップ」HPをご覧ください。

ICHIGEKI OFFICIAL SHOP TEL.0120-512-182 FAX.0120-512-184

<https://www.ichigeki.com/>



【審判基準】

審判員および審判委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁量による。組手時間の規定時間は1試合につき3分(予選は2分)、延長戦は2分とする。ただし、必要と認められた場合は審判長の裁量により、あらかじめ時間を設定することもありうる。

大会進行は極力予定スケジュールに沿わせるが、やむをえない事態が生じた場合は、審判長・副審判長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。審判長は大会進行に関し、大会審議委員会の意見を求めることができる。

【組手と勝敗】

- 1. 組手は原則として1試合3分間(予選は2分)とする。延長戦は同じく2分間とする。
2. 組手の勝者は、①一本勝ち、②技有り2本による合わせ一本勝ち、③判定勝ち、④相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち、により決定される。

【一本勝ち】

- 3. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、ダメージを受けた相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

【技有り】

- 4. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、ダメージを受けた相手選手が一時的にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がったとき、または、倒れはしないがダメージのためバランスを崩したときは技有りとする。
5. クリーンヒットと残心：上段への蹴り(上段廻し蹴り、上段前蹴り、上段後蹴り、上段後廻し蹴り、上段膝蹴りなど)がクリーンヒットし、転倒やバランスを崩さなくとも、間合いを制しタイミング良く気合いが伴う突きをして明確な残心を示せば技有りとする。
6. 中段への蹴り(中段前蹴り、中段後蹴りなど)がクリーンヒットし、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止める気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。

- 7. 自身の技(足掛け・足払い、相手の技にカウンターの下段蹴りなど)によって、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止める気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
8. 相手の捨身技(廻し回転蹴りなど)をかかわって、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止める気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
9. 転倒した選手が、倒れた瞬間に防御及び反撃の為に即座に攻撃(下からの蹴り上げ、廻し蹴りなど)をすることは認められ、第3条または第4条の基準で技有りや一本勝ちも認められる。

- 10. 相手の有効技により負傷し、審判長の判断で治療が必要となった場合、相手選手に技有りが与えられた上で試合続行となる。

- 11. 技有りは、2つで一本勝ちとする。

※転倒：攻防の中で相手の技によって瞬時に体を奪われ、お尻・背中が床についた場合。または足の裏以外の部位が床に着き、死に体(しにたい)となり直ちに攻防が続けられない状態になった場合。
※当て止め：ライトコンタクトによる明確な突き、ダメージを与えるフルコンタクトは反則。
※蹴りのクリーンヒット：ダメージのある技有り(第4条)にまでは至らしないが、ある程度の威力・インパクトを伴う蹴り。

【判定】

- 12. 一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。
13. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持を有効とする。
14. 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。
①ダメージ：どちらがより相手にダメージを与えたか。
②有効打・防御技術：どちらがより有効な技を相手に当てたか。どちらが防御技術を用いて相手の攻撃を防ぎ、自分の攻撃に結びつけていたか。ダメージが無いとしても相手の技に反応せず不用意に受けるのは、試合判定のマイナス要因となる。

- ③積極性・試合態度：どちらが正確な技で積極的な主導権を握っていたか。どちらが武道精神に則り相手を尊重して正々堂々とした試合態度であったか。
15. 減点1を与えられた選手が「技有り」を取った場合、判定に於いて「減点1」と「技有り」は相殺され、それ以外の内容で判定される。減点1=技有り

- 16. 相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち。

【延長戦】

- 17. 判定で主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持がない場合は、引き分けとし、延長戦を技有りとする。

【体重・試合判定】

- 18. 延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合は、体重差と試合回数で勝者を決する。体重差が10kg無い場合は試合回数の多い選手を勝者とする。体重差が10kg無くて試合回数が同数の場合は、再度延長戦を行って決める。体重差が10kg以上有り、試合回数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行って決める。

【反則】

- 19. 次の場合は、反則とする。
①顔面殴打：手、肘による顔面および首への攻撃。手先が触れても反則となる場合がある。ただし、手で顔面を牽制することはかまわない。
②金的への攻撃。
③頭突きによる攻撃。
④倒れた相手への直接攻撃。第6条、第7条、第8条の場合を除く。
⑤背骨への攻撃：背骨(脊柱)への直接攻撃。
⑥掛け：相手選手の手首から上、及

び胴体へ手掛けた場合。
⑦掴み：相手選手の道着、手足を掴んだ場合。ただし、相手選手の足払い(足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど)に対する防御のために道着を掴むことは反則とせず、口頭での指導にとどめる。(これらのケースは両者が掴んでいる場合が多く、特に掴みの反則を狙って仕掛ける相手の足払いに対する自衛的掴みについては反則を取らない)
⑧抱え込み：相手選手の手や身体を抱えた場合。ただし、相手選手の手払い(足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど)に対する防御のために相手選手を抱えることは反則とせず、口頭での指導にとどめる。その際に首から上を抱え込むことは反則。また、双方共に相手選手を抱えたまま床に叩きつけてはならない。
⑨投げ：相手選手を投げた場合。
⑩顔面、首への押し：首から上への押し。
⑪連続しての押し：相手選手を連続して押した場合。
⑫抑え：相手選手を抑えた場合。
⑬密着：腕や胸を合わせて密着した状態。
⑭密着：腕を合わせて、技術的な展開が3〜5秒見られない膠着状態を繰り返した場合。
⑮消極性：明らかに消極的な態度で試合をした場合。
⑯掛け逃げ：掛け逃げを再三繰り返した場合。
⑰場外：自分から場外へ両足が出た場合、及び戦意をなくして場外に出た場合は反則(注意1)とする。ただし、攻防中に場外に出た場合は反則を取らない。
⑱主審の「止め」が掛かった後の攻撃。
⑲関節への攻撃：中足・足刀・カカトによる正面から膝関節への攻撃。
⑳不十分な礼：正しく礼をしない場合。
㉑着衣の乱れ：着衣が著しく乱れたまま試合を続けた場合。帯がほどけて床に落ちた場合。
㉒偽装：以下の場合、武道精神に悖る(もとる)行為として、注意・減点となる場合がある。
・相手の反則を装った場合(例：顔面殴打や金的への攻撃を受けたと装う)
・負傷を誇張した場合
・自ら顔面殴打や金的攻撃などを誘発した場合
㉓違反行為：ガッツポーズや床の踏み鳴らしなど禁止されている行為を行なった場合。
㉔審判がとくに反則とみなした場合。
※押し：瞬間的な単発の押しを認める。
※捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。
※押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うことが認められる。

- 20. 反則により、悪質な場合を除き1度目で「注意」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
※反則により相手選手が負傷し、直

ちに試合続行が不可能で回復時間が必要となり、審判長がその反則が重大なものと判断した場合は、反則をした選手に2つ分の注意が与えられる。

【減点】

- 21. 次の場合は1度目でも減点となる場合がある。
①悪質な反則を行った場合。
②審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【反則負け】

- 22. 次の場合は、反則負けとする。
①減点2となった場合。減点2=反則負け
②反則により相手選手が負傷し、大会医師または医事委員が試合続行不可能と判断し、審判長が認めた場合。

【失格】

- 23. 次の場合は失格となり、審判長の判断で順位が剥奪される場合がある。
①試合中、審判員の指示に従わない

- 場合。
②粗暴な振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場合。
③出場申し込み時に申告した体重と当日の体重に10kg以上の相違があった場合。
④出場時刻に遅れたり、出場しない場合。
⑤主催者が定めた服装、防具の規定に反している場合。

【試合放棄】

- 24. 正当な理由なくして試合を放棄したときは、弁償金を支払わなければならない。ただし、下記の場合は例外とする。
①大会医師または医事委員の診察を受け、試合続行不可能となった場合。
②大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故(家族の不幸など)が発生し、審判長が協議の上、退場を許可した場合。

国際空手道連盟・試合規定

- ①試合の材料は、33cm×21cm、厚さ24cm(13インチ×8インチ、09インチ)の杉板を使用する。材質は国際空手道連盟の規格に合致したもので、審判員、審議員の検査を通ったものとする。
②割った枚数によって点数を競うが同枚数の場合は、体重の軽い選手を優先とする。その際の有効体重差は原則として10kgとする。
③選手は、正拳・足刀・猿臂・手刀の4種類の技で試合を行い、その合計点を競うとする。
④選手は、試合の枚数について、規定枚数(3枚)以上であれば何枚でも指定できる。
⑤指定した枚数が1回の試合で完全に割れない場合は「失敗」とし、得点にならない。
⑥「失敗」した場合は、再度試みるこ

- とができるが、この場合は規定枚数の3枚とする。
⑦再度試みた試合に失敗した場合は、得点を0とする。
⑧試合は、固定したブロックを台として所定の位置で行う。ブロックの台は、審判員、審議員の許可がない限り動かすことはできない。
⑨選手は試合に当たって、ブロックの板、板にはいっさい触れてはならない。ただし、間合いを計ること、板の上には審判員、審議員の検査を受けた薄い布(手拭、タオル等)を敷くことはできる。また、足刀の際にブロックに足を掛けて試合を行うことができる。
⑩試合は、審判員の指示で行う。制限時間は2分とし、それを超えると失敗とみなす。

女子の体重・試合規定

- 準決勝以降の試合において延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合、両選手は直ちに体重測定と試合を行い体重差と試合回数で勝敗を決定する。
・相手の反則を装った場合(例：顔面殴打や金的への攻撃を受けたと装う)
・負傷を誇張した場合
・自ら顔面殴打や金的攻撃などを誘発した場合
③違反行為：ガッツポーズや床の踏み鳴らしなど禁止されている行為を行なった場合。
④審判がとくに反則とみなした場合。
※押し：瞬間的な単発の押しを認める。
※捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。
※押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うことが認められる。

- い選手を勝者とする。体重差が5kg無くて試合回数同数の場合は再度延長戦を行って決める。体重差が5kg以上有り、試合回数同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が5kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行って決める。
【試合続行】
準決勝 ①手刀
三位決定戦 決勝戦 ①猿臂

大会における肖像権について

- 1. 国際空手道連盟 極真会館(主催者)は、本大会の模様を動画撮影、写真撮影、録音等の方法により記録し、公開するほか、主催者及び主催者の指定する第三者により各種媒体(テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等)において公開、利用することができる。
また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び画像が含ま

- れる可能性がある。
2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び画像が記録、公開及び利用されることに予め同意したのとし、主催者の自由な判断による記録、公開及び利用に関し、肖像権、プライバシー権、パブリシティ権、作品や成果物に関する著作権者人格権等を行使せず、また一切の対価を請求しないものとする。

I.K.O.極真ルール審判動作基準

組手の部

【試合開始】

- 1. 両選手を進行係が呼ぶ。(このとき対戦者はお互いに反対の位置より試合場に登る)
2. 中央の線を境に一定の間合い3mをとり中央に主審が立つ。両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、主審の「はじめ」の合図で試合を開始する。
3. 試合続行中、着衣が乱れた場合、主審は試合を止め開始線に戻し、お互いに背を向けて服装を直させる。

【試合中】

- 1. 試合中、一本勝ち、技有り、反則、場外などの場合、副審は笛の合図とともにそれぞれ旗によって示す。主審は「やめ」の指示で両選手を分け、元の位置に戻す。
2. 旗の振り方は、以下の通りとする。

- ①一本勝ち / 勝った選手の方の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
②技有り / 技有りを取った選手側の旗を真横に上げる。大きく短く笛を吹く。
③反則 / 反則をした選手側の旗を振る。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
④場外 / その側の旗で床を叩き、その後場外へ出た選手側の旗を反則と同様に振り、笛を吹く。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
⑤認めず / 2本の旗を交差させて振る。旗に合わせ長めに笛を吹く。
⑥見えず / 2本の旗を正面で交差させる。笛は吹かない。
⑦判定の際：引分け・中立 / 2本の旗を前で交差させる。大きく笛を吹く。赤の勝利 / 赤の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。白の勝利 / 白の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。

- 3. 一本勝ち、技有り、反則の場合、主審は副審の判断を求め主審を含め3名以上の判断を有効として、それぞれ宣告する。

【一本勝ち】

- 1. 試合規則第3条の一本勝ちの技が決まった場合、主審は両選手の間に入って分け、試合を止め元の位置に戻す。
2. 主審を含め3名以上の支持を有効とし、一本勝ちを宣言する。
【判定勝ち(優勢勝ち)】
1. 一本勝ち、反則負け、失格がない場合、試合終了の合図によって、主審は「止め」と指示し両選手を分け、元の位置に戻す。
2. 主審は両選手を正面に向かせ、「判定」と指示して副審の判断を求める。副審は判定基準に則り勝ちと判断した選手側の旗を真上に上げる。引分けと判断した場合は、2本の旗を前で交差させる。主審を

- 含め3名以上の支持を有効とし、3名以上の支持がない場合は引分けとする。

【反則】

- 1. 反則があった場合は、主審が両選手の間に入って試合を止めさせる。
2. 反則の認定には原則として主審を含め3名以上の支持を有効とする。
3. 反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
4. 反則技については、試合規則「反則」(第19条)を参照。
【反則負け】
1. 減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け(手刀を斜めに指し示す)を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2. 失格の基準は、試合規則「失格」(第23条)を参照。
【試合終了】
1. 一本勝ち、反則負け、失格の場合、主審はただちに組手を止め、両選手を向かい合わせたまま勝ちを宣告し、両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、握手をさせ、退場させる。
2. 一本勝ち、反則負け、失格がない場合は、試合終了の合図とともにただちに組手を止め、両選手を正面に向かせ副審の判断を求め、勝者を決定した上同様にする。

【反則負け】

- 1. 減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け(手刀を斜めに指し示す)を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2. 反則負けの基準は、試合規則「反則負け」(第22条)を参照。

FREQUENTLY USED TECHNIQUES

試合の主な有効技



正拳突き
Fore-Fist Thrust



下突き
Upper Cut



肘打ち
Elbow Strike



片手での押し
One Hand Push



両手での押し
Both Hands Push



上段廻し蹴り
Upper Roundhouse Kick



下段廻し蹴り
Low Roundhouse Kick



前蹴り
Front Kick



膝蹴り
Knee Kick



横蹴り
Side Kick



後ろ廻し蹴り
Spinning Back Kick



踵落とし
Axe Kick



胴廻し蹴り
Roll Kick



捌き
Fending Off



蹴り技・合わせ技による転倒から下段突き
Downing an opponent by counter kick and lower thrust



足掛けによる転倒から下段突き
Downing an opponent by foot sweep and lower thrust



足掛け・捌きの複合技による転倒から下段突き
Downing an opponent by combining foot sweep & fending off, and lower thrust



上段への蹴りのクリーンヒットから残心
Upper kick cleanly hit an opponent and Zanshin



相手の捨身技を避けて下段突き
Avoiding an opponent's techniques and lower thrust



倒された瞬間の下からの攻撃
Attack from the floor immediately after being felled down

FOUL TECHNIQUES

試合の主な反則技



手技による顔面への攻撃
Strike To The Face



手技による首への攻撃
Strike To The Neck



連続しての押し
Multiple Pushing



掴み
Grabbing



頭突き
Head Butting



頭を付けての攻撃
Pushing With Head And Attacking



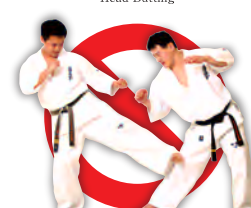
密着
Touching the hands or chest-to-chest



背骨(脊柱)への直接攻撃
Striking The Spine From Behind



金的への攻撃
Kick To The Groin



正面からの膝関節への攻撃
Attacking directly to the knee from front of it



倒れた相手への攻撃
Attacking A Downed Opponent



掛けての攻撃
Hooking an opponent's neck or body part



抱え&抱え込み
Holding an opponent's body parts such as leg



腕・脚を擲いての捻り・投げ
Twisting or throwing an opponent's body parts such as leg and arm



上から抑えての攻撃
Holding an opponent's body parts such as shoulder

副審の旗による動作 Action of the Corner Judges



一本勝ち 旗を真上に上げる
Ippon / Full Point & Decision-Winner
Flag straight up



技有り 旗を真横に
Wazaari / Half point
Flag straight to the side



認めず 旗を交差させて振る
Mitomezu / No score
Flags waving & crossing



見えず 旗を正面で交差
Mizu / Did not see
Flags crossed in front of the chest
(Do not cover eyes)



反則 旗を上下に振る
Hansoku / Foul
Flag waving up & down



場外 旗で場外線を叩く
Jogai / Out of bounds
Flags tapping the ground



引き分け・中立 旗を交差させる
Hikiwake / Decision-Draw
Flags crossed

◎有効・反則技について
写真で説明している「有効技」と「反則技」は、あくまでも主な例であり、ここにある技がすべてではありません。
These techniques and fouls are only examples.

監修 / 磯部清次 (大会審判長)
演武 / 伊藤 慎 (岐阜支部長)
森善十郎 (東京城西大北沢・町田支部長)

I.K.O. 審判資格者

2024年11月現在
as of 2024 November

I.K.O. Officiating License Holders List

※準副審判員は省略

◆審判委員会 (Officiating Committee)

審判長 (Committee Chairman)
磯部 清次 ISOBESEJI

副審判長 (Committee Vice Chairman)
ケニー ウーテンボガート
KENNYUYTENBOGAARDT
山田 雅稔 YAMADA MASATOSHI

審議委員 (Committee Member)
河岡 博實 KAWAOKA HIROMI
川畑 幸一 KAWABATA KOICHI
浜井 良顕 HAMAI YOSHIAKI
スチュアート コリガル
STUART CORRICAL

◆特別審判員 (Executive Referee)

五来 克仁 GORAIKATSUHIRO
福田 勇 FUKUDA ISAMU
八巻 建志 YAMAKI KENJI

◆主審判員 (Referee)

赤石 誠
阿部 清文
伊藤 慎
入澤 群
小田 勝幸
鴨志田 裕寿
河岡 晶俊
川本 英児
菅野 秀行
木立 裕之
木山 仁
進 裕治
杉村 多一郎
田口 恭一
田中 隆昌
戸田 直志
橋爪 秀彦
羽田 シゲル
ホヴァニシアン アルトゥール
三村 政史
山口 進也
横山 誠

◆準主審判員 (Associate Referee)

青木 英憲
安島 喬平
足立 慎規
池田 祥規
石黒 康之
石田 伸太
伊藤 和幸
今井 宏幸
岩田 厚
岡田 幸喜
隠岐 忠顯
柿沼 英明
加藤 瑞基
北本 久也
黒田 都士
毛塚 慎一
小坂 精作
佐々木 敏也
塩島 修三
瀬戸 雅昭
田ヶ原 正文
竹石 修
谷口 正明
徳田 忠邦
中塚 信夫
仲間 博之
中村 章子
永田 太

西村 淳平
泰 貴典
初川 正彦
日比野 丈二
福田 達也
ホスロ ヤグビ
細野 由人
堀田 裕晴
本間 唯志
前川 克信
松永 敏
御子 直司
三村 忠司
三宅 義英
脇田 彰影
村田 達也
森 善十郎
守友 完矢

◆公式審判員 (Judge)

青木 修
青木 慎二
東 博昭
荒井 茂雄
新井 敏毅
荒玉 康夫
石川 博隆
板橋 清之彦
今西 登之彦
梅本 直幸
江口 美治
江口 善次
岡田 裕樹
小沼 隆一
沼貝 慶多
垣内 翔仲
嘉藤 作明
加藤 宏典
香取 保典
金田 翔平
鎌田 洋幸
鴨志田 剛龍
川村 修
菊地 裕之
北川 宗則
久保 英和
久保 博
倉島 直樹
栗原 昌昌
高武 慎之介
小坂 武史
小林 節太
小林 龍昌
小桜 正一
沢田 乃基
澤倉 一好
白川 明美
白川 彰一
白川 慎二
白銅 悦子
鈴木 康由
鈴木 由弘
高崎 秀之介
高武 慎之介
竹岡 拓哉
田中 勢二
田邊 正信
田口 拓也

田原 一樹
塚原 典寿
津田 久寛
徳田 寛大
戸谷 諒介
中 淳一
中辻 惟時
西尾 輝
根本 清志
羽林 和彦
林 芳彦
馬場 武治
比嘉 幸士
樋口 惠正
日野 敏也
尾平 裕樹
福井 堅秀
福森 尊忠
古城 浩
堀内 謙典
谷松 裕隆
三角 秀樹
水品 良昌
三井 愛花
本村 貴鶴
八木 千鶴
安川 博文
川上 添史
山由 克宜
山吉 浩一

◆準審判員 (Associate Judge)

相澤 一賀
相澤 孝秀
相澤 孝樹
青木 海
青木 孝真
青木 宏菜
青柳 美美
青山 優衣
石元 浩太
秋本 英勝
秋元 結奈
秋山 治郎
秋山 俊典
阿久津 怜音
阿久津 清志
明井 清好
浅川 子義
浅田 和潤
浅田 美司
浅田 浩三
阿座 圭太郎
阿曾 健太郎
阿曾 芳樹
阿安 完児
阿熱 修史
阿部 貴仁
阿部 仁樹
阿部 勝三
阿部 勝利
阿部 ゆり
阿部 良夫
天笠 久望
天野 朝之
アミール バクシ
荒井 瑞生

新井 安行
荒川 裕志
荒川 瑞希
荒川 善幸
荒川 善聡
荒木 聡
荒野 竜樹
野屋 秀晃
有田 晃之
安藤 和宏
安藤 誠一
安藤 増実
飯島 義人
飯島 昌久
飯田 由久
飯田 一貴
飯塚 茂幸
飯塚 努勉
飯塚 翼光
飯塚 博一
飯沼 圭直
飯山 勝彦
飯川 貴順
井川 順洋
五十嵐 成人
井口 采那
池嶋 僕哉
池尻 俊步
池田 孝徳
池田 美穂
池田 心結
池田 康紀
池田 亮太
池之内 貴弥
池村 哲治
池本 大和
生駒 昌一
伊佐 昌二
石井 達一
石井 鉄也
石井 規博
石井 博豊
石井 礼助
石岡 幸貴
石川 貴強
石川 豊廉
石川 廉英
石坂 圭典
石崎 恋文
石崎 博也
石関 もも良
石田 成樹
石田 拓巳
石田 穂人
石田 昌正
石原 奈央
石原 久雄
石原 浩幸
石原 聖優
石橋 文敏
石居 久和
石居 俊佑
和泉 佑

磯部 勝彦
磯部 聖子
磯部 裕教
磯部 隆宏
板倉 巧克
板橋 真幸
伊丹 浩二
伊川 竜也
一条 忠浩
一井 志平
一井 雄一
伊藤 文惠
伊藤 圭太
伊藤 孝一郎
伊藤 孝志
伊藤 明志
伊藤 武治
伊藤 千華
伊藤 勉
伊藤 寧
伊藤 正彦
伊藤 観世
伊藤 萌克
伊藤 達哉
種崎 雄
種崎 盛斗
種崎 波護
井上 翔太
井上 健司
井上 真幸
井上 素世
伊原 武志
伊原 比圭
伊深 達哉
今井 宏輔
今井 智道
今井 秀樹
今井 泉智
今井 畑博
今井 向謙
今井 江友規
今井 入口直也
今井 田哲夫
岩井 光弘
岩城 達毅
岩崎 臣次
岩崎 伸之仁
岩崎 宗力
岩田 繁人
岩田 淳大
岩田 龍靖
岩沼 靖憲
岩間 道明
岩間 雄二
岩谷 敏也
因泥 友成
宇上 清弘
上澤 俊

～ 極真会館へ入門をしたら～

会員登録

- ◆道場生は入門手続きと同時に、極真会館基幹システムIKOポータルに必要事項を入力し極真会館総本部に登録を行なうと同時に年会費の決済を行なっていただきます。
- ◆会員登録の詳細についてはIKOポータル確認画面(会員登録に関する重要事項)を確認し同意して頂くことになります。
- ◆会員登録は基本的には、入門時に道場で入力して頂きます。
- ◆登録完了後は、会員マイページにログインすることで登録状況の確認・変更が行なえます。
- ◆登録完了の時点で稽古に出席ができます。



※会員登録は極真会館の道場生全員が行なうことになっています。昇級審査の受審や試合出場の直前に行なうものではなく、入門と同時に前もって頂きます。

既存の会員の方へ

IKOポータルへの登録切替 (切り替えることで何がかわるか?)

現在の登録されている情報をIKOポータルへの登録切替することで

- ◆各種情報の変更の届け出が会員ご本人のパソコンなどで行なえるようになりました。
- ◆お手持ちのクレジットカードで年会費・メディカルサポート加入費のお支払いが可能となりました(クレジットカードの発行申込が必要ありません)。
- ◆会員マイページへログインすることで登録状況の確認が可能となりました。

<https://www.memberregistration.net/user-auths/login>



IKOポータルへ切り替えていない会員の方

～こんな時は、必ずお知らせください～



こんな時【その1】 引越しをしたら…

住所変更届の要領に従って必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。



こんな時【その4】 退会しようと思ったら…

- ◎退会希望の場合は、年会費引き落としの40日前までに、ご本人・決済者が会員管理部に必ず電話連絡のうえ、総本部発行の会員証を所属支部へ返却していただくか、会員管理部へご返送ください。
- ◎確認のため、生年月日、住所などを必ずおたずねすることがございます。相違する場合はお受けできない可能性もあります。
- ◎退会の際は、必ず所属支部にも連絡してください。年会費の停止などは、会員管理部では行っておりません。
- ◎引き落としの前には請求書・振替の案内をお送りしますが、その確認後に退会連絡をいただいても、「年会費は翌年」、「年会費は翌月」からの引き落とし中止となります。
- ◎退会届の受付後、取り消しは原則的に行なえません。退会後の入門には、再度、入門料・年会費が必要となりますので、よくご検討のうえ、ご連絡をお願いいたします。
- ◎会員本人または会費決済者が諸手続きを行なわなかった場合、納入された年会費・年会費の返金は一切行ないません。翌年・翌月からの引き落とし中止となります。
- ◎退会希望の届けがない限り、毎年一回カード決済または口座振替により年会費は引き落としされ、登録は継続されます。本会より退会確認の連絡は行ないませんので、あらかじめご了承ください。

こんな時【その2】 口座を変更したら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その3】 会員カードを なくしたら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その他】

- 道場の休会 ●他支部への移籍 ●合宿・昇級審査など
- ご不明な点は、各所属支部道場におたずねください。

住所変更届

※会員登録に関する変更届は、下記の要領にしたがって(または、コピーして)必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。※所属支部へも住所変更を行なってください。※楽天KCカード(オフィシャルメンバーズカード)会員の方は、楽天KC株式会社(TEL0570-01-5971)へも届けが必要です。

会員番号		フリガナ氏名	
支部名			
◎新住所			
フリガナ			
〒	※アパート等にお住まいの方は建物の名称・号室まで記入ください。		
TEL.			

黒帯カード申請書

黒帯カード申請 / 写真の変更 / 会員証の再発行(事前にご連絡をお願いいたします)



【黒帯カードへの切替について】黒帯カードへの切替を希望される方は、申請書に必要事項を記入し、カード再発行料2,200円(うち税200円)と現在お持ちの会員証(バーコード入り)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。同時に写真も同封してください。

【写真変更について】現在お持ちの会員証の写真を変更希望の場合は、変更する写真(パスポートサイズ)・会員番号・氏名を記入したメモ・現在の会員証(バーコード入り)・再発行料2,200円(うち税200円)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。※書留確認後、1ヵ月程度お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会員番号		フリガナ氏名	
支部名			
昇段年月日	年 月 日	昇段No.	現在の段 段

お知らせに関するお問い合わせ

国際空手道連盟極真会館「会員管理部」

TEL.03-6452-5666

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 FAX.03-6452-5667

受付時間/平日の午前10時～午後5時30分(土日祝祭日は除く)



 **国際空手道連盟
極真会館 総本部**

館長/松井章奎 師範/福田 勇、八巻建志、杉村多一郎、
ホヴァニシアン・アルトゥール、赤石 誠
指導員/入澤 群、貝沼慶多、コパレンコ・コンスタンティン、
谷川蒼哉、日比野丈二、本間唯志

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 | TEL.03-5992-9200 FAX.03-5992-9600

**大山総裁の遺志を受け継いで、
松井章奎館長が指導。**

総本部道場は極真空手の原点であり、同時に直接打撃制カラテの原点とも言えます。全国の支部と道場、全世界に大きく展開する国際空手道連盟の中心です。

総本部道場は、強さと精神的向上を求める道場生の活気あふれた極真空手の殿堂であり、故・大山倍達総裁の遺志を受け継いだ松井章奎館長のもと、一般部(13歳~34歳)、壮年部(35歳以上)、女子部、少年部(満4歳~12歳)があり、随時入門・体験・見学ができます。

極真会館ホームページ <http://www.kyokushinkaikan.org/>

■おもな管轄道場

総本部代官山道場 ◎責任者:赤石 誠
〒150-0033
東京都渋谷区猿樂町3-7 代官山木下ビル 4階
TEL.03-3780-5553

総本部川口道場 ◎責任者:ホヴァニシアン・アルトゥール
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-2-26
ライオンズマンション3F TEL.048-255-8988

総本部所沢道場 ◎責任者:入澤 群
〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-13
カワモク所沢ビル3F TEL.042-922-3331

総本部札幌道場
〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島一条1-7-20
Forged bldg 4F TEL.011-816-3939

総本部岩手道場 ◎責任者:松村典雄
〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町4-58
TEL.019-647-3351

総本部沖縄道場
〒902-0077 沖縄県那覇市長田1-13-65
那覇市寄宮中学校武道場 TEL.098-943-5478



<p>青森支部</p> <p>空手の道は人の道</p> <p>支部長 石川博栄</p> <p>〒036-8141 青森県弘前市松原東1丁目3-2 2F TEL.090-3361-6007</p>	<p>北海道函館支部</p> <p>奮励努力</p> <p>支部長 横山 誠</p> <p>〒041-0841 北海道函館市日吉町3-10-3 TEL.0138-54-8199</p>	<p>北海道胆振支部</p> <p>初志貫徹</p> <p>支部長 澤田乃基</p> <p>〒051-0004 北海道室蘭市母恋北町1-5-11 (学)北斗文化学園内 TEL.090-3393-5808</p>
<p>北海道札幌東支部</p> <p>創意工夫、道をひらけ!!</p> <p>支部長 塚原典寿</p> <p>〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西4丁目2-17 501号 TEL.080-3497-3595</p>	<p>秋田支部</p> <p>義理人情</p> <p>支部長 伊藤和摩</p> <p>〒010-0963 秋田県秋田市八橋大沼町3-14 TEL.018-866-1855</p>	<p>山形支部・福島地区・宮城仙台道場</p> <p>勇気と望みと感謝の心</p> <p>支部長 吉田浩一</p> <p>〒960-0201 福島県福島市飯坂町字十綱下12-4-505 TEL.024-563-3987</p>
<p>郷田道場</p> <p>集え!! 限界へのチャレンジャー</p> <p>最高顧問 師範 郷田勇三</p> <p>〒114-0014 東京都北区田端5-14-2 富士見マンションB1F TEL.03-3823-8954</p>	<p>東京城西支部</p> <p>めざせ!! 極真の星を!</p> <p>総本部長/関東本部 本部長 支部長 山田雅稔</p> <p>〒161-0034 東京都新宿区上落合3-23-17 ユニール落合1F TEL.03-3363-8430</p>	<p>栃木北支部</p> <p>質実剛健</p> <p>支部長 荒玉康夫</p> <p>〒324-0057 栃木県大田原市住吉町1-15-23 戸辺ビル2F・3F TEL.0287-23-7090</p>
<p>栃木南支部</p> <p>継続は力なり</p> <p>支部長 板橋清隆</p> <p>〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原1-2-34 滝の原ビル2F TEL.028-637-8997</p>	<p>群馬東支部</p> <p>不撓不屈</p> <p>支部長 小林 節</p> <p>〒371-0804 群馬県前橋市六供町326 TEL.027-289-2158</p>	<p>群馬西支部</p> <p>生涯修行</p> <p>支部長 細野由人</p> <p>〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須289-1 TEL.0274-24-2858</p>
<p>茨城支部・埼玉北支部</p> <p>求道万日</p> <p>支部長 鴨志田裕寿</p> <p><茨城> 〒305-0821 茨城県つくば市春日3-1-7 セブートルビル3F TEL.0298-851-1993 <埼玉北> 〒347-0033 埼玉県加須市下高柳1635-1 TEL.0280-31-6510</p>	<p>茨城中央支部</p> <p>闘志全開</p> <p>支部長 安島喬平</p> <p><水戸> 〒310-0825 茨城県水戸市吉沢町162-2 TEL.090-6177-81366 <牛久> 〒300-1203 茨城県牛久市栄町5-57-2 TEL.0292-91-3592</p>	<p>埼玉東支部</p> <p>心・技・体</p> <p>支部長 毛塚慎一</p> <p>〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野59-2 TEL.090-2247-7150</p>
<p>埼玉西北支部</p> <p>努力は必ず報われる</p> <p>支部長 村田達也</p> <p>〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山2-11-16 ニュー狭山マンション1階 TEL.042-955-8557</p>	<p>埼玉南支部</p> <p>尊敬・忍耐・感謝</p> <p>支部長 鈴木雄三</p> <p>〒353-0004 埼玉県志木市本町5-18-8 サンロード志木2F TEL.048-487-7444</p>	<p>埼玉中央支部</p> <p>やればできる!めざせ夢!</p> <p>支部長 ホスロ・ヤグビ</p> <p><大宮> 〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区榑引町1-322 リファレンス大宮1F・A TEL.048-653-9172 <宮原> 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-477-1 TEL.048-653-9172</p>
<p>埼玉北越谷支部</p> <p>極真精神!己を超えろ!</p> <p>支部長 堀井 浩</p> <p>〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷2-17-5-2F TEL.048-979-8408</p>	<p>千葉北支部</p> <p>極真の覇者王道を歩め!</p> <p>支部長 柿沼英明</p> <p>〒273-0005 千葉県船橋市本町6-3-20 ベルヴアル2F TEL.047-422-4128</p>	<p>千葉南支部</p> <p>地域・社会に貢献する道場を目指す</p> <p>支部長 石田伸太</p> <p>〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-20 TEL.0436-24-3212</p>
<p>千葉中央支部</p> <p>心・技・体</p> <p>支部長 竹石 修</p> <p>〒264-0024 千葉県千葉市若葉区高品町427-6 TEL.043-235-3870</p>	<p>千葉下総支部</p> <p>心を込めて、真に生きる</p> <p>支部長 塩島 修</p> <p>〒343-0042 埼玉県越谷市千間台東1-2-1 TEL.048-971-4553</p>	<p>千葉東葛支部</p> <p>空手道の探求、普遍性の追求</p> <p>支部長 福井裕樹</p> <p><柏> 〒277-0852 千葉県柏市旭町11-16 中崎ビル2F TEL.04-7147-9008 <松戸> 〒271-0091 千葉県松戸市本町19-2 河内ビル2F TEL.047-369-4655</p>

千葉海浜支部



胆大心小

支部長 荒田昇毅

〒266-0032
千葉県千葉市緑区おゆみ野中央2-13-14
B棟スタジオM&M
TEL.090-1999-1802

本部直轄 四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場



極真の道を全うすること

支部長 杉村多一郎

<四谷>〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11
山一ビル1F TEL.03-3357-8555
<飯田橋>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
4-5-3F TEL.03-3221-0753
<東松山>〒353-0016 埼玉県東松山市材木町
22-11 ウチビル2F TEL.0483-25-3127
<秩父>〒365-0005 埼玉県秩父市大字大野原
186-4 TEL.0483-25-3127
<熊谷>〒360-0037 埼玉県熊谷市真波2-13
加賀崎ビル1F TEL.048-524-1104

東京城東北千住支部



随所に主たれば、立つ処皆真なり

支部長 佐々木敏也

〒120-0034
東京都足立区千住3-1
トンプク堂ビル3F
TEL.03-5244-0201

東京城東小岩支部・千葉北西支部



心を磨き己を極める

支部長 足立慎史

<小岩>〒133-0057
東京都江戸川区西小岩1-30-8 第二中正ビル2F
TEL.03-3658-9077
<行徳>〒272-0133
千葉県市川市行徳駅前2-18-3 リムール堀本2F
TEL.047-356-0403

東京城東葛西支部



質実剛健

支部長 木立裕之

〒134-0084
東京都江戸川区東葛西5-1-14
第7片田ビル2F
TEL.03-6456-0178

東京城東湾岸支部



人生一度!主役は自分!

支部長 鎌田翔平

<築地>〒104-0043 東京都中央区湊2-12-11 2F
<月島>〒104-0052 東京都中央区月島 4-6-12
スタジオワンス内 TEL.080-7273-2999

東京城南大崎支部



求道無限

支部長 鈴木由一

〒140-0002
東京都品川区東品川3-25-1
牧田ビル2F
TEL.03-3458-0058

東京城南京浜支部



己に克つ

支部長 菅野秀行

〒143-0016
東京都大田区大森北1-11-3
サカエビル4F A
TEL.03-5471-0603

東京城南池上支部



覇気を失う事は自分を失う事

支部長 御子柴直司

〒142-0042
東京都品川区豊町1-6-11
プレジールBI
TEL.03-4570-0500

東京城南目黒中央支部



我以外皆師也

支部長 池田祥規

〒153-0065
東京都目黒区中町2-38-27
鈴木第2ビル2F
TEL.03-5704-1078

東京城北支部



一所懸命

支部長 川本英児

〒179-0082
東京都練馬区錦1-34-15
カーサ錦1F
TEL.03-5399-3134

東京城西国分寺支部



継続は力なり

支部長 江口芳治

〒185-0012
東京都国分寺市本町3-11-1
第8千代鶴ビル5F
TEL.042-322-8691

東京城西世田谷東支部



一生懸命

支部長 田口恭一

〒154-0011
東京都世田谷区上馬1-32-10
ハイツ三軒茶屋1F
TEL.03-3422-6653

東京城西野方支部



規律・情熱・イズム

支部長 根本清志

〒165-0027
東京都中野区野方4-25-9
TEL.03-3388-6722

東京城西下北沢・町田支部



感謝

支部長 森善十朗

<下北沢>〒155-0033 東京都世田谷区代田5-11-11
シティ代田3F
<町田>〒194-0021 東京都町田市町中3-6-27階B
TEL.080-6359-0775

神奈川県横浜港南支部



正々堂々

支部長 羽田シゲル

〒231-0057
神奈川県横浜市中区曙町5-68
永田ビル2F
TEL.045-243-1875

神奈川県横浜北支部



弱きは即ち此れ強き、強きは克己なり

支部長 今西登之彦

〒222-0032
神奈川県横浜市長北区大豆戸町639-2
TEL.045-435-1800

神奈川県横浜東支部



翔ぬける極真の風になれ

支部長 青木英憲

〒223-0061
神奈川県横浜市長北区日吉7-16-28
ロイヤルコート日吉307
TEL.045-560-0187

神奈川県川崎中央支部



自分に強く

支部長 進裕治

〒213-0011
神奈川県川崎市高津区久本3-2-18
エムビル1階2号室
TEL.044-822-0021

神奈川県相模原支部



志ここに-AMBITIOUS-

支部長 戸田直志

〒252-0243
神奈川県相模原市中央区上溝6-10-3 1F
TEL.042-761-1377

神奈川県西湘支部



継続は力なり

支部長 福田達也

〒250-0011
神奈川県小田原市栄町3-10-31
栄町マンション2F
TEL.0465-24-9191

神奈川県大和支部



一意専心!

支部長 竹岡拓哉

<長後>〒252-0016 神奈川県藤沢市長後668-1
サザン長後ビル203
<大和>〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1
シリウス内3F マルチスペース
TEL.080-9192-3739

神奈川県川崎南支部



一芸は道に通ずる

支部長 加賀健弘

〒212-0022
神奈川県川崎市幸区神明町1-13-1 2F
TEL.080-1181-1622

神奈川県横浜西北支部



不屈の精神

支部長 石崎恋之介

<事務局>〒161-0034
東京都新宿区上落合3-23-17
ユニール落合1階 東京城西支部気付
TEL.080-1064-1015

総本部横須賀道場



和を以て貴しと為す

支部長 日比野丈二

〈沙入〉〒238-0042
神奈川県横須賀市沙入町2-32 HL沙入駅前ビル3F
〈久里浜〉〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜4-3-6 島伝第1ビル3F
TEL.090-8342-5090

山梨支部



千練万鍛極真の道

支部長 小坂武史

〒405-0003
山梨県山梨市下井尻526-1
TEL.0553-33-9761

新潟中央支部



魅する私たちの軌跡

支部長 西村淳平

〒950-2015
新潟県新潟市西区西小針1-4-21
TEL.025-368-9500

富山支部



極真精神

中部本部 本部長

支部長 浜井良顕

〒930-0847
富山県富山市曙町6-40
TEL.070-9007-6678

長野支部



文武両道

支部長 平尾敏也

〒381-0033
長野県長野市南高田2-3-20
TEL.026-477-2696

石川支部



克己

支部長 古城忠

〒924-0047
石川県白山市西美沢野町2番地1
TEL.076-274-7107

福井支部



人間の挑戦する意欲に限界はない

支部長 宮脇英彰

〒915-0834
福井県越前市北千福町109-3
TEL.0778-21-2380

静岡西遠支部・愛知東三河支部



天は自ら助くる者を助く!!

支部長 石黒康之

〈西遠〉〒432-8038 静岡県浜松市中央区
西伊場町56-14・2F
TEL.053-482-9937
〈東三河〉〒441-8141 愛知県豊橋市草間町字東山1143-6
TEL.0533-69-6231

静岡富士支部



継続は力なり

支部長 前川克信

〒419-0205
静岡県富士市天間954-59
TEL.0545-71-8666

静岡中央支部



千鍛万錬

支部長 初川正彦

〒420-0915
静岡県静岡市葵区南瀬名町3-14-2F
TEL.054-247-1501

愛知東南支部



生きる、しあわせ心豊かに!

支部長 堀田裕晴

〒475-0917
愛知県半田市清城町3-4-10-101
TEL.0569-26-2539

愛知名古屋支部



継続は力なり

支部長 木山仁

〒464-0827
愛知県名古屋市中千種区田代本通1-28
グレン清友1F
TEL.052-762-5119

岐阜支部



意志あるところに道は開ける

支部長 伊藤慎

〒500-8333
岐阜県岐阜市此花町5-2
フジタビル
TEL.058-254-1833

京都支部



強く、優しく

関西本部 本部長

支部長 川畑幸一

〒604-8437
京都市中京区西ノ京東中合町56
パレット御池2F
TEL.075-801-8155

奈良支部

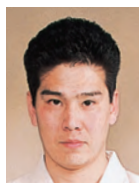


精鋭無比

支部長 梶貴典

〒634-0835
奈良県橿原市東坊城町123-16
TEL.0744-28-2064

北大阪支部



努力精進

支部長 橋爪秀彦

〒564-0053
大阪府吹田市江の木町20-25
TEL.06-6170-2233

大阪西支部



信と力なり

支部長 岡田祐樹

〒552-0001
大阪府大阪市港区波除2-5-5
菊川マンション 1F
TEL.06-6584-3111

大阪東南支部



やれば出来る! 勇気と挑戦!!

支部長 田中隆昌

〒599-8234
大阪府堺市土塔町3333-1
TEL.072-239-2520

大阪みなはや支部



拳禅一如

支部長 田ヶ原正文

〒558-0004
大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12
パークサイド南栄ビル2F
TEL.06-6695-1768

大阪東支部



信頼と感謝

支部長 東博昭

〈貝塚〉〒597-0081 大阪府貝塚市麻生中814-2
TEL.072-427-9906
〈枚方〉〒573-0131 大阪府枚方市春日野2-13-1
TEL.072-427-9906

大阪南支部



健やかな強さ

支部長 徳田忠邦

〒593-8311
大阪府堺市西区上441-1
TEL.072-264-8804

大阪布施支部



極真の道を全うすること

支部長 田中正信

〒577-0843
大阪府東大阪市荒川2-18-12
ビルドジャパン布施1F
TEL.090-9160-7606

兵庫西支部



先へ先へ、さらなる先へ

支部長 山野博久

〒656-0025
兵庫県洲本市本町5-3-4
本町コモード2F
TEL.090-8932-2149

和歌山支部



押忍

支部長 北本久也

〒640-0112
和歌山県和歌山市西庄1037-53
TEL.090-8570-0458

<p>中国本部</p> <p>長州男児 極真魂に徹す</p>  <p>本部長 河岡博實</p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p>山口支部</p> <p>志を立てて万事の源となす</p>  <p>支部長 河岡晶俊</p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p>広島支部</p> <p>真を極める</p>  <p>支部長 小田勝幸</p> <p>〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-7 キシカワビル TEL.082-209-3040</p>			
<p>岡山東支部</p> <p>大いなる野心</p>  <p>支部長 中塚信夫</p> <p>〒700-0964 岡山県岡山市北区中仙道55-124 サンビオーネ中仙道2F TEL.086-242-2008</p>	<p>徳島支部・岡山南支部</p> <p>心を磨く、技を磨く、自分を磨く</p>  <p>支部長 三宅義人</p> <p>〈徳島〉〒770-0021 徳島県徳島市佐古一丁目10-6 レインボータワービル5F TEL.088-654-6098 〈岡山南〉〒710-0038 岡山県倉敷市新田2901 TEL.090-8978-9021</p>	<p>香川支部・岡山西支部</p> <p>夢・極真専魂</p>  <p>支部長 岩田厚</p> <p>〈香川〉〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1304-1 TEL.0877-28-8880 〈岡山西〉〒710-0817 岡山県倉敷市大内1237-1 TEL.086-486-0222</p>			
<p>愛媛中央支部</p> <p>極真専心・極真貫徹</p>  <p>支部長 谷口拓也</p> <p>〒790-0854 愛媛県松山市岩崎町2-12-23 竹村金物店3F TEL.089-977-5720</p>	<p>高知中央支部</p> <p>鍛とは万年己れを鍛え、練とは千年己れを練る</p>  <p>支部長 白川彰一</p> <p>〒782-0032 高知県香美市土佐田町西本町4-1-5 TEL.090-1576-0141</p>	<p>福岡西支部</p> <p>世界の和合を志すサムライの育成</p>  <p>支部長 阿部清文</p> <p>〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神5-7-5 ベスト天神ビル6F TEL.092-739-6610</p>			
<p>福岡東支部</p> <p>気力、体力、努力</p>  <p>支部長 三村政史</p> <p>〒802-0023 福岡県北九州市小倉北区下富野5-1-31 TEL.093-521-7702</p>	<p>大分支部</p> <p>初志貫徹 武道空手</p>  <p>支部長 三村忠司</p> <p>〒870-0933 大分県大分市花津留1-12-12 TEL.097-556-4511</p>	<p>本部直轄 浅草・三郷・草加道場</p> <p>〈事務局/浅草〉 〒111-0033 東京都台東区 花川戸1-3-6 花川戸ビル1F TEL.03-5828-5992 〈三郷〉TEL.048-953-3277 〈草加〉TEL.048-928-0523</p>	<p>埼玉春日部道場</p> <p>〒344-0011 埼玉県春日部市 藤塚1626 TEL.048-763-8117</p>		
<p>新潟南道場</p> <p>〒949-7117 新潟県南魚沼市長森新田20-1 TEL.080-4051-4108</p>	<p>三重東道場</p> <p>〒510-0836 三重県四日市市松本3-12-17 豊ビル4F TEL.059-223-0400</p>	<p>大阪天満橋道場</p> <p>〒536-0016 大阪府大阪市城東区 蒲生4-2-3-303 TEL.06-6939-0244</p>	<p>島根松江道場</p> <p>〒690-0885 島根県松江市 浜佐町787-2 TEL.0852-36-6828</p>	<p>長崎諫早道場</p> <p>〒854-0062 長崎県諫早市小船越町1048-2 諫早市中央体育館 TEL.0957-46-7900</p>	<p>熊本帯山道場</p> <p>〒862-0924 熊本県熊本市帯山8-5-94 TEL.096-285-3442</p>

国際空手道連盟 極真会館 全国支部 地区本部区分

<p>総本部</p> <p>館長/松井章奎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総本部道場 ・総本部代官山道場 ・総本部所沢道場 ・総本部川口道場 ・総本部札幌道場 ・総本部岩手道場 ・総本部沖繩道場 ・本部直轄四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場 ・本部直轄浅草・三郷・草加道場 	<p>北日本本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森支部 ・北海道札幌東支部 ・北海道胆振支部 ・北海道函館支部 ・秋田支部 ・山形支部 ・福島地区 ・宮城仙台道場 <p>中部本部</p> <p>本部長/浜井良顕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山支部 ・長野支部 ・石川支部 ・福井支部 ・静岡富士支部 ・静岡中央支部 ・静岡西遠支部 ・愛知東三河支部 ・愛知東南支部 ・愛知名古屋支部 ・岐阜支部 ・三重東道場 	<p>関東本部</p> <p>本部長/山田雅稔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷田道場 ・東京城西支部 ・栃木北支部 ・栃木南支部 ・群馬東支部 ・群馬西支部 ・茨城支部 ・茨城中央支部 ・埼玉北支部 ・埼玉北西支部 ・埼玉東支部 ・埼玉中央支部 ・埼玉南支部 ・埼玉北越谷支部 ・千葉北支部 ・千葉下総支部 ・千葉中央支部 ・千葉南支部 ・千葉北西支部 ・千葉東葛支部 ・東京城東北千住支部 ・東京城東小岩支部 ・東京城東葛西支部 ・東京城東湾岸支部 ・東京城西国分寺支部 ・東京城西世田谷東支部 ・東京城西野方支部 ・東京城西下北沢・町田支部 ・東京城北支部 ・東京城南目黒中央支部 ・東京城南池上支部 	<p>関西本部</p> <p>本部長/川畑幸一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都支部 ・奈良支部 ・和歌山支部 ・北大阪支部 ・大阪西支部 ・大阪東南支部 ・大阪東支部 ・大阪なみはや支部 ・大阪南支部 ・大阪布施支部 ・兵庫西支部 ・大阪天満橋道場 ・滋賀草津道場 <p>中国本部</p> <p>本部長/河岡博實</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口支部 ・広島支部 ・岡山西支部 ・岡山東支部 ・岡山南支部 ・島根松江道場 	<p>四国本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島支部 ・香川支部 ・愛媛中央支部 ・高知中央支部 <p>九州本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡西支部 ・福岡東支部 ・大分支部 ・佐賀支部 ・熊本支部 ・宮崎支部 ・鹿児島支部 ・長崎諫早道場 ・熊本帯山道場 <p>佐賀支部・熊本支部・宮崎支部・鹿児島支部 連絡先/総本部事務局 東京都渋谷区猿楽町3-7 TEL.03-6452-5777</p>
--	---	--	--	--

加圧トレーニング®本部は、「第56回 全日本空手道選手権大会」「2024極真祭」を応援しています。



KAATSU TRAINING®



Pressure Training the Father
Yoshiaki Satou

加圧トレーニング®発明者 佐藤義昭



国際空手道連盟 極真会館は、加圧トレーニング®の普及・発展に努めています。

SHIDAX

未来の子供たちのために

シダックスグループは
「すべては未来の子供たちのために」を使命とし、
より良い社会を次世代に継承するために
フードサービス、車両運行サービス、社会サービスの
3つの基幹事業を通じて社会課題を解決していく総合サービス企業です。



シダックス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-12-10 シダックス・カルチャービレッジ TEL.03-5784-8881 (代表)

<https://www.shidax.co.jp>

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

堀建設は
極真カラテを
応援します



株式会社 堀建設



CONGRATULATIONS

**THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI**



株式会社 シャイン

Shine inc.

代表取締役 小池 茂

〒371-0847 群馬県前橋市大友町1丁目7-2 シャインビル

シャインは、太陽光発電システムに蓄電池、オール電化、住宅総合リフォームなど住宅メンテナンス専門の会社です

お客様にとって当たり前の暮らしが送れるようサポートする
住宅の総合メンテナンスパートナーです。

ご質問・ご相談などお気軽にどうぞ



0120-868-933

受付時間 9:00~19:00 (定休日 月曜日・火曜日)





CONGRATULATIONS

**THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI**

株式会社 修和

代表取締役会長

染谷 修光

〒333-0815 埼玉県川口市北原台 3-16-38 Tel.048-294-9000/Fax.048-294-9003

SHUWA

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP 2024 KYOKUSHINSAI

住み心地からアフターまで

WE REALIZE THE HAPPINESS OF THE FAMILY
BY THE HOUSING CONSTRUCTION.



セントラルマンション太平



パシフィック平野市町



ホテルレオン浜松

大阪府大阪市にある「太平地所株式会社」では
自社で企画・設計した住宅物件の販売、
また自社保有マンションの賃貸業を行っております。
創業以来「住み心地からアフターまで」を合言葉として、
その実現に努めてまいりました。

太平地所の家と共に、私たちも末永く皆さまと
お付き合いできる企業でありたいと願っております。
当社までお気軽にご相談ください。



真流院町コインパーキング



太平ソーラー観鳥

家族の幸せを家づくりで実現します

家族の和、絆、思い出。いつまでも長く、永く続いていくように。
守り、寄り添う住まいを、私たちはご提案いたします。

住いの実現



太平地所株式会社

<https://taihei-jisyo.co.jp> 宅建免許/大阪府知事(12)第19974号

〈本社〉 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目6番26号
〈平野営業所〉 〒547-0024 大阪府大阪市平野区瓜破2丁目2番6号

ご質問・ご相談などございましたら、お問い合わせください。



0120-452-814

(営業時間 10:00~19:00)

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHIN-INTERNAT

報德殿



松 英

株式会社 大松

松 国 宣 英

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-3-10



CONGRATULATIONS

「第56回全日本空手道選手権大会」

「2024極真祭」を応援します。

**THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI**



イディアグループ

〒231-0014

神奈川県横浜市中区常盤町4-45 アートビル4F

TEL.045-212-5581 (代)

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

株式会社 クリエーション

代表取締役 野村保夫

〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-40 銀洋ビル402 TEL.045-324-8200/FAX.045-324-8411

株式会社 横浜小泉不動産

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4-1-28 TEL.045-851-3471/FAX.045-851-8618

<https://www.yokohamakoizumi.com/>

株式会社 大一興業

代表取締役 高橋和秀

〒225-0015 横浜市青葉区荏田北2-1-5

株式会社 今西建設

代表取締役 野村 保夫

〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8番8号 ゾンネンハイム元住吉101-5 TEL.044-751-7905/FAX.044-751-4322

<http://www.imanishi-const.co.jp/>

株式会社 イマニシ

代表取締役社長 今西登之彦/取締役専務 今西 大

〒216-0013 川崎市宮前区潮見台10-24 TEL.044-977-5311/FAX.044-751-4322

株式会社 極真会館メディカルマネジメント

代表取締役 今西登之彦

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町639-2 TEL.045-439-5200/FAX.045-432-5253

<http://www.kyokushin-mm.jp/>

国際空手道連盟 極真会館

神奈川県横浜北支部は

「第56回全日本空手道選手権大会」

「2024極真祭」を応援します。

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

株式会社 **イディアコーポレーション**

代表取締役 **池田 喜紀**

〒231-0014 横浜市中区常磐町4-45 アートビル5F TEL045-222-3505/FAX045-222-3502

〈個人協賛〉

増田全平 知念尚子 田村友亮 馬場千桜之助

馬場小桃之助 馬場十梅之助 センター北道場 戸部道場
道場生一同 道場生一同

〈指導員協賛〉

相談役 野村保夫 後援会長 今西 大 分支部長 杉山史紘

分支部長 池田喜紀 師範代 高橋和秀 師範代 相澤和政

指導員 佐藤 修 指導員 平野裕士 指導員 小泉啓次朗

指導員 酒井一雄 指導員 小林繁之 指導員 大西秀治

指導員 尾藤 勇 指導員 李 武志 指導員 森 誠司

指導員 白濱 淳 指導員 丸山正徳 指導員 岡村清二

指導員 根本明芳 指導員 安藤公敬 指導員 李 權允

指導員 石井鉄也 指導員 伊藤滉一郎 指導員 岡村真也

指導員 土井清隆 指導員 原 敬一 指導員 皆川朋輝

指導員 馬場慎之助 指導員 坂田 正



ZONE
GROUP



TWIN-LINE HOTEL YANBARU OKINAWA JAPAN



日本のレジャーをもっと楽しく!

カトプレジャーグループは、ホテル、リゾート、レストラン、エンターテインメント、リパークルーズなど多岐に亘る事業の開発や運営を行うトータルプロデュースカンパニーです。



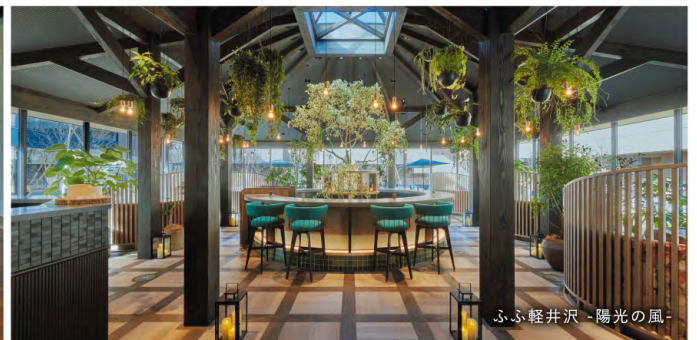
Kafuu Resort Fuchaku CONDO・HOTEL



i+Land nagasaki



ふふ旧軽井沢 - 静養の森 -



ふふ軽井沢 - 陽光の風 -



SAIGEN

サイゲングループは、
スポーツをするすべての人を応援します

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

広いピットで安心安全作業 ★ 待機レーン大型5台完備



預り大型タイヤ保管ラック

株式会社しのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1 TEL.048-571-0700 FAX.048-573-7642

<http://www.shinozaki-inc.com/>

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

大型建機車両の部分修理作業 ★ 廃棄タイヤが生まれ変わる



株式会社

建機ソリューションしのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1 TEL.048-577-3920 FAX.048-573-7642

<http://www.shinozaki-inc.com/>

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

未来を創る 美を生む源に

事業サポート

Dream'sは、多様なコネクションを生かし、美容クリニック、エステティックサロン等のスタートアップおよび、事業の拡大に向けた企画、運営のサポートを致します。オーナー様個々のご希望を尊重した上でベストな仕組みをご提案し、パートナーとして共に事業の成功を目指します。



商品の企画・製造販売

世界に一つしかないオリジナル商品の開発、OEM生産から広告、販売戦略までトータルでサポート致します。また、高い抗菌性と人体へ無害な「錯体ナノコロイド水溶液」を使用した商品開発、衛生環境のご提供をします。化粧品に配合することで肌の衛生状態に寄与、室内に噴霧することで、ウイルスの永続的な排除が可能となります。

ヒト幹細胞培養上清液

再生療法分野で高い注目を集めるヒト幹細胞培養上清液を配合した効果的な商品開発、原料の卸売りをしております。Dream'sが扱うヒト幹細胞培養上清液は、一定の基準に沿ったドナーと多くの試験により定められた培養工程により、一般基準と比較してグロースファクターの含有量と安定性の高さが特徴です。いつまでも若々しくあるため、安全性と安定性が高く効果的な製品のご提供を致しております。



株式会社 Dream's

代表取締役社長

竹島 夢



〈本社〉〒106-0041 東京都港区麻布台2-1-2 麻布台パークハウス916
TEL.03-6435-5487 / FAX.03-6435-5469

CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

志太塾は国際空手道連盟 極真会館
総本部の選手を応援します。

志太塾

谷川 蒼哉

コバレンコ・コンスタンティン

代表 志太 勤一

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI



Nakaoka

中岡建設グループ

代表 中岡 大治

建設

株式会社 中岡建設

総合建設業

大阪市天王寺区烏ヶ辻1丁目1番6号 第2中岡ビル

不動産仲介

太平洋ハウジング株式会社

売買賃貸仲介業

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

不動産買取

株式会社 リアルインベスト

不動産賃貸業

大阪市中央区日本橋1丁目25番23号 アミスタユウ

マンション・ビル管理

大成土地建物株式会社

マンション・ビル
メンテナンス業

大阪市天王寺区茶臼山町1番11号 イデアール天王寺

ホテル・旅館管理

イデアールリゾート株式会社

ホテル・旅館
宿泊業

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

警備

株式会社 S.S.Cサービス

交通 保安警備業

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

株式会社プロアホールディングスは
国際空手道連盟 極真会館を
応援しております!



**PROA
HOLDINGS**

警備・アウトソーシングなら、プロアホールディングス

【本社】
〒604-8451 京都府京都市中京区
西ノ京御興岡町25-16 イリアスビル
アウトソーシング事業部 セキュリティ事業部
tel.075-464-2626 tel.075-464-8777

【鳥丸御池支店】
〒604-0835 京都府京都市中京区
高宮町206御池ビル7F-A
tel.075-222-7231

【東京支社】
〒105-0004 東京都港区新橋5-13-10
VORT新橋NEXビル4F
tel.03-5425-6221

【大阪支社】
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区
東中島1丁目20-19 新大橋ヒカリビル10F 1006号
tel.06-6328-7337



《グループ企業》



株式会社ライジング
株式会社ライジングファシリティーズ
人材派遣・警備



ディーエムサービス株式会社
人材派遣・警備



株式会社デルマーセキュリティ
人材派遣・警備



株式会社DSC
警備



株式会社ジャパンファシリティサービス
警備



株式会社INGダイナミクス
清掃



株式会社イリアス
不動産



株式会社マリアコミュニケーションズ
印刷出版・イベント企画



株式会社オールライフスタイルズ
和菓子「京三象駿河屋」



一般社団法人
メディカルケア・ライジング
A型就労サポート「ひまわり」



株式会社ディーバ
輸入車販売



CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI



SUN LUCK

株式会社 サン・ラック

代表取締役 **澤井 明彦**

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-12 TEL.03-5816-2222(代表) <http://www.sunluck777.co.jp>

業務内容
 パチンコ機・パチスロ機の販売
 バーラー経営に関わるトータルサポート業務
 バーラー補給システムの販売

バーラーの玉貸機・両替機・計算機等の部品の販売
 バーラーの設計デザイン
 バーラーの内装・外装デザインの企画設計施工

加盟
 東日本遊技機商業協同組合
 日本遊技関連事業協会
 余暇環境整備推進協議会
 回胴式遊技機商業協同組合

施工の質を追究することで、
より魅力的な「エンターテイメント空間の創造」に貢献します。

エンターテイメント空間の創造

HOSHINO



SANKYO パーラー事業部 協力会社
有限会社 星野工務店
 東京都知事許可番号 特(4)第114832号

〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-8
 (株三共東上野第2ビル2F

Tel.03-3834-7777 Fax.03-3834-9999
 URL : <http://www.hoshino777.tokyo/>

MONGORYU

頭皮に一撃! 真の極み モンゴ流

薄毛に悩む
男性が選ぶ
スカルプシャンプー
第1位*



* 実査委託先：ゼネラルリサーチ（2019年11月：全国の20代～50代の薄毛に悩む男性1028名）

株式会社 アルファウェイ
〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル

0120-38-0205



インターネットで調べてもどの免疫治療が良いのか、
新しいがん治療のことは誰に聞いたらいいかわからない。

理研免疫再生医学

株式会社「理研免疫再生医学」は、
特定非営利活動法人理研免疫再生医療のメディカルライセンス企業です。

RIKEN 株式会社
Immune Regenerative Medicine

NKT細胞を用いた
新しい自己免疫細胞療法

RIKEN-NKT®
リケン・エヌケーティー

がん三大治療法に続く新しいスタンダード
ほぼ全てのがんで治療可能です

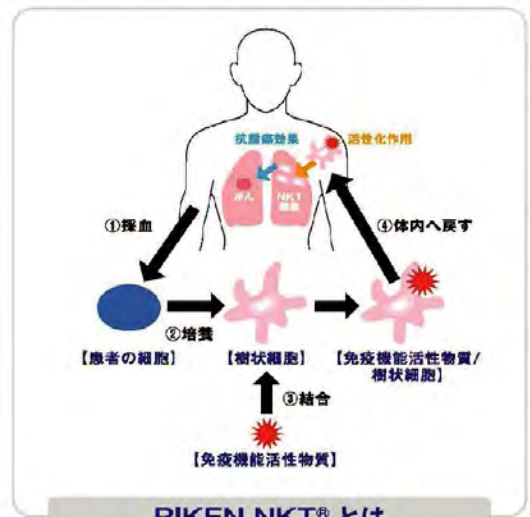
細胞製法方法
特許取得済
特許番号
6834293号*

薬と生体の
GMP製造
必須化合物
使用**

*1 発明の名義：リケン・エヌケーティー（NKT）細胞を調製する新規製法の製法方法、NKT細胞を調製する新規製法、NKT細胞を調製する新規製法とNKT細胞とを含む細胞製法の製法方法およびNKT細胞を調製する新規製法とNKT細胞とを含む細胞製法の製法方法
*2 医薬品中の細胞製法を含むものの製造販売承認に求められる「製造販売承認」(製造特許・品質管理特許)のことであり、医薬品製造においては製法に基づくGMP遵守と遵守することが求められています。

活性化したNKT細胞の
がんに対する6つの働き

- 1 がん細胞による免疫の抑制を制御
- 2 獲得免疫と自然免疫の両方の細胞群を同時に活性化・増殖(アジュバント)
- 3 がん細胞を直接攻撃
- 4 がん細胞の新しい変異に迅速に対応
- 5 長期免疫記憶を獲得・保持
- 6 がん細胞がいる所に自律的に集積



RIKEN-NKT® とは



理事長 伊東信久

医療法人 眞愛会
伊東くりにつく
〒553-0003 大阪市福島区福島1-1-51
堂島クロスウォーク4F(大阪中之島クリニックモール内)

まずは気軽にお電話・WEBで
こちらまで
お問い合わせください。
TEL.06-6453-4125



CONGRATULATIONS

THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

虎の穴

虎の穴は
第56回全日本空手道選手権大会
を応援しています。

館長 辛 永虎



国際空手道連盟
剛毅會

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18 渋谷南東急ビル12Fミツイワ(株)内



Facebook



インスタ

Landmark

お客様の「感動」を導く上質な接客をめざして

ランドマークグループは極真会館を応援します。

ランドマークグループ
代表取締役 **高田 慶清**



ランドマーク網干



ランドマーク広畑



ランドマークたつの

〒671-1241 兵庫県姫路市網干区興浜 1479-1/ TEL:079-287-6702・FAX:079-287-6703




200年続く企業を、
200万人を笑顔にする企業を、
お客さまといっしょに目指します。



OSS 大阪地区たのしいスクール No.1
尾崎スイミングスクール

株式会社尾崎スイミングスクール 本社
〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町5-31-18
<https://www.ozaki-swimming.com/>

尾崎スイミングスクール 検索 

シード建設株式会社は、国際空手道連盟 極真会館

兼久啓太郎選手を応援しています。



シード建設株式会社

SEED CONSTRUCTION CO.,LTD

一級建築士事務所 / 特定建設業 / 宅地建物取引業

一般建築 注文住宅 店舗建築 修繕・改修

大阪本社 >> 大阪市中央区北久宝寺町4丁目2番10号 東明ビル4階
TEL.06-6243-2210 / FAX.06-6243-2208

東京オフィス >> 東京都台東区浅草6丁目13番12-101号
TEL.03-5808-7870 / FAX.03-5808-7871



施工管理募集中！あなたの力を待っています！
詳細は当社ホームページの採用情報をご覧ください。

CONGRATULATIONS

THE 56TH
ALL JAPAN OPEN KARATE
CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

**極真会館
東京城西支部**

INTERNATIONAL
KARATE TOKYO JOSAI BRANCH
KYOKUSHINKAIKAN



前島 康夫

YASUO MAESHIMA



株式会社 ミエラセン

確かな品質、堅実なモノづくり

確かな品質と堅実な性能が、
私たちのモノづくりのモットーです。
信頼を築くパートナーとして、
お客様の課題に向き合い続けます。

株式会社 ミエラセン
<http://www.mierasen.jp>

代表取締役 岩瀬 雅洋

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目8番26号
TEL 06-6772-0666 FAX 06-6772-0668

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI



株式会社
アクセロン

URL: <https://accelon.co.jp/>

代表取締役 **志茂 学**

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通4-23
Tel.045-306-6681 Fax.045-306-6682

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI



代表取締役 **梅村 真行**

〒103-0002 東京都中央区日本橋浜町三丁目16番7号
Tel.03-5652-3188 Fax.03-5652-3189

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

株式会社
ジェイレック

代表取締役 **加藤 裕之**

〒177-0053 東京都練馬区関町南 1-12-4
Tel.03-3594-0597 Fax.03-3594-3439

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

株式会社
チアフルフーズ

兼久啓太郎選手を応援しています!

〒556-0021 大阪市浪速区幸町3-8-4
Tel.06-6568-5175 Fax.06-6568-5178

CONGRATULATIONS THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
2024 KYOKUSHINSAI

空調設備・消防設備・建物清掃

有限会社
メトロビル管理

代表取締役 **廣仲和幸**

〒176-0003 東京都練馬区羽沢3丁目29番8号
Tel.03-3992-3313 Fax.03-3992-3314



KARATE

THE UNIVERSAL
LANGUAGE



+ 日本赤十字社 災害義援金チャリティー

2025 第7回

全世界体重別空手道選手権大会

THE 7TH WORLD WEIGHT CATEGORY KARATE CHAMPIONSHIPS 2025

2025 国際親善空手道選手権大会

INTERNATIONAL KARATE FRIENDSHIP 2025

主催 / 国際空手道連盟 極真会館 館長 / 松井章奎

2025年4月26日^土27日^日 東京体育館

PRESENTED BY INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION KYOKUSHINKAIKAN
APRIL 26TH & 27TH, 2025 @ TOKYO METROPOLITAN GYMNASIUM

**THE 56TH
ALL JAPAN OPEN KARATE
CHAMPIONSHIP**